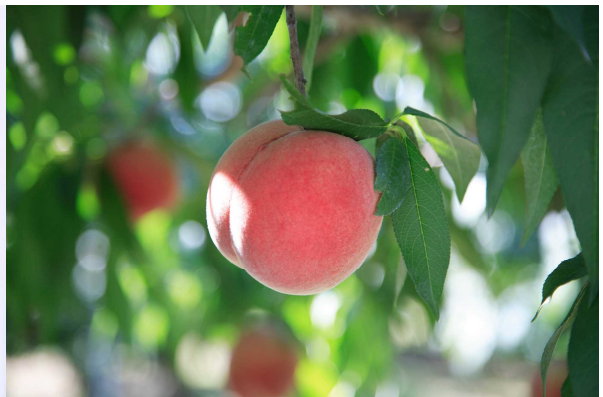


鹿角地域の概要 2 0 2 5



【大湯環状列石 土版】



【かづの北限の桃】

令和 7 年 6 月

目 次

I 鹿角地域のすがた

1	地勢・交通	2
2	人口	3
3	経済・産業	5
4	農業	8
5	商業	15
6	工業	17
7	観光	18
8	雇用	20
9	保健・医療・福祉	21
10	生活・環境	23
11	道路・河川	24
12	管内市町の概要	26
13	教育	28

II 鹿角地域振興局の概要

1	令和7年度鹿角地域振興局組織図	30
2	令和7年度鹿角地域振興局重点施策推進事業の概要	31
3	令和7年度鹿角地域振興局各部の重点事項	
	総務企画部	32
	福祉環境部	34
	農林部	36
	建設部	38
4	令和7年度鹿角地域振興局各部の所管業務	40

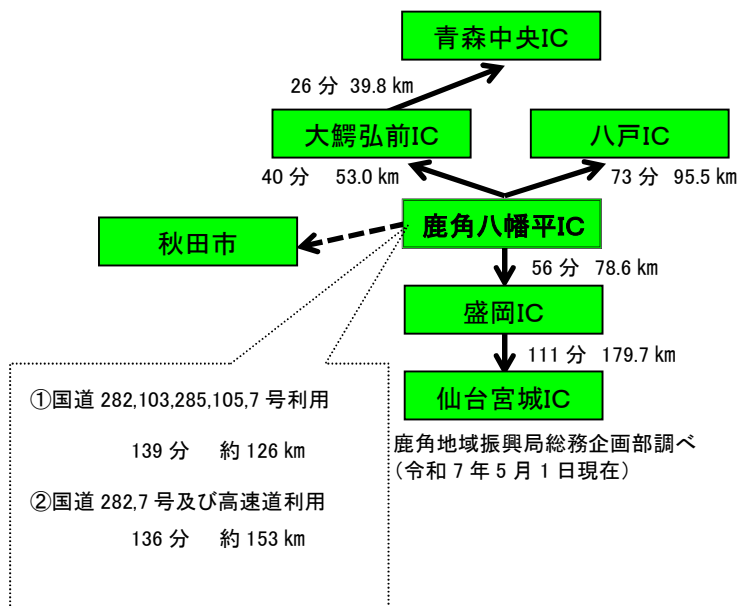
I 鹿角地域のすがた

1 地勢・交通

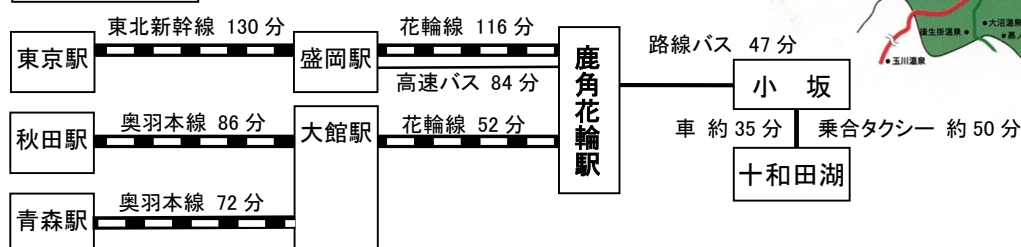
- 鹿角地域振興局管内は、鹿角市及び小坂町の一市一町からなり、北東北三県のほぼ中央、秋田県北東部に位置し、十和田湖、八幡平からなる「十和田八幡平国立公園」を有する自然環境に恵まれた地域である。
- 面積は909.22㎢（鹿角市：707.52㎢、小坂町：201.70㎢）であり、秋田県の総面積（11,637.49㎢）に占める割合は約7.8%となっている。
- 交通は、南北に東北自動車道が走り、「鹿角八幡平」「十和田」「小坂」の3つのインターチェンジがあり、青森市、盛岡市とも、1時間程で結ばれている。
- 平成25年11月、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジから小坂ジャンクションまでの約16キロが開通し、県都秋田市との時間・距離が短縮したものの、一部未整備区間が残存しており、早期の高速道路の全線開通が期待されている。

鹿角地域における交通体系

①高速道路網



②公共交通網

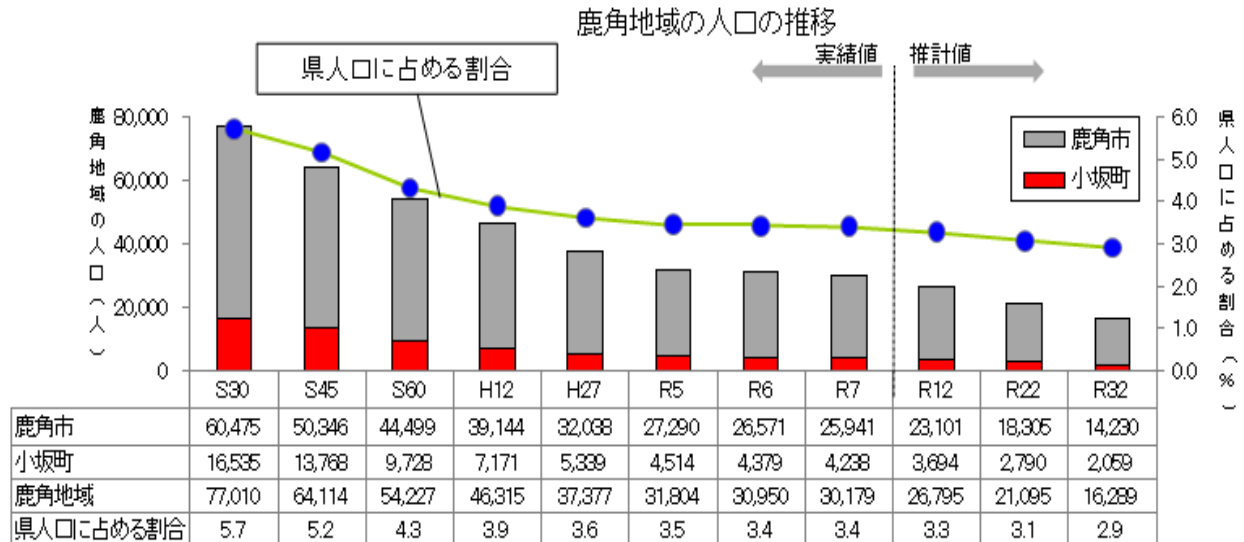


資料)JR東日本時刻表、秋北バス時刻表より鹿角地域振興局総務企画部作成
(令和7年5月1日現在)※各路線を最短時間で結ぶ便を記載



2 人口

- 令和7年4月1日現在、管内の人口（推計値）は、30,179人（鹿角市：25,941人、小坂町：4,238人）である。昭和30年の77,010人をピークに減少を続けている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、当管内における令和32年の将来推計人口は16,289人であり、県人口全体に占める管内人口の割合は、2.9%となる。

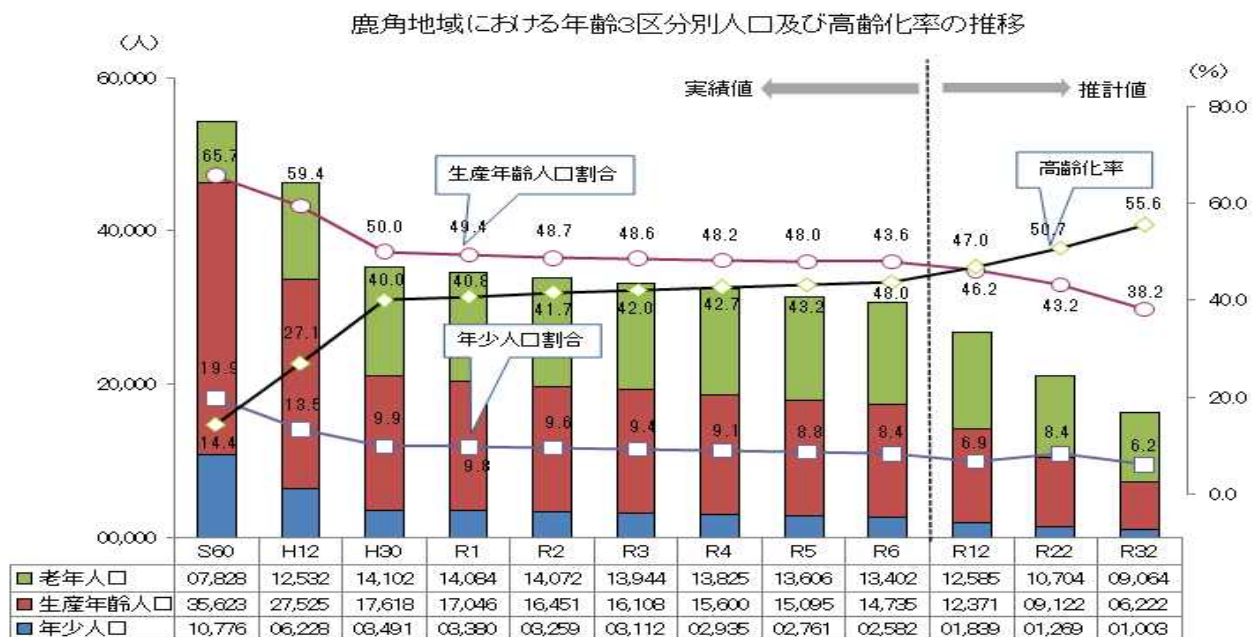


資料) S30～H27: 総務省「国勢調査」

R5～R7: 県調査統計課「秋田県の人口と世帯【月報】」

R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

- 年齢3区分別人口の推移では、年少人口割合及び生産年齢人口割合が低下する一方、高齢化率は上昇を続け、人口減少と少子高齢化の進行が続くものと推測されている。



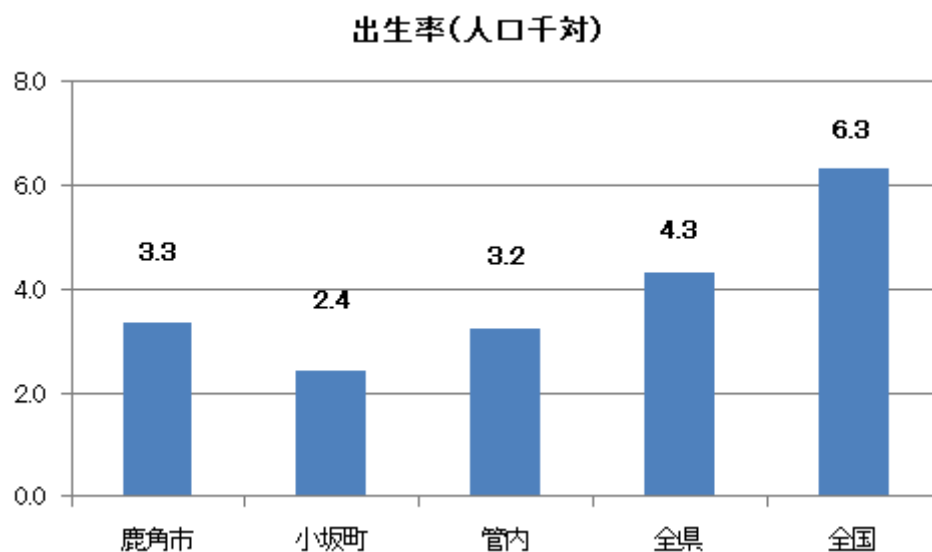
(資料) S60～H12: 総務省「国勢調査」

H30～R6: 県調査統計課「R6 秋田県の人口(秋田県年齢別人口流動調査報告書)」

R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

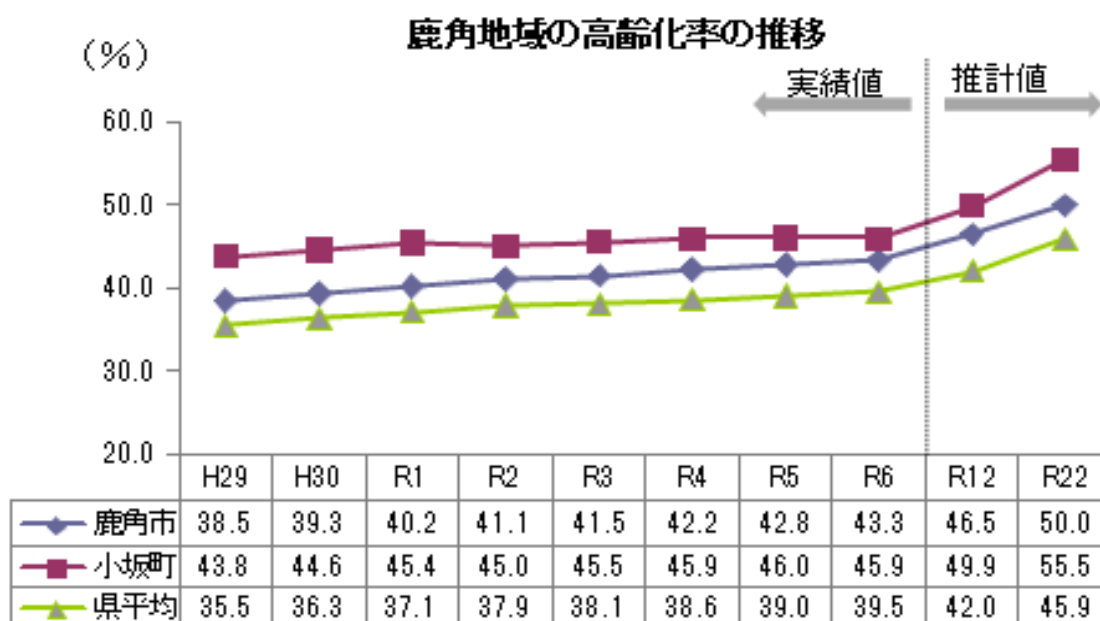
(年齢不詳を除く。県及び鹿角管内の総人口と一致しないことがある)

- 鹿角地域における出生率（人口千人当たりの出生数、令和4年）は3.2であり、全県（4.3）を1.1ポイント下回っている。



資料)県健康福祉部「令和4年秋田県衛生統計年鑑」

- 令和6年(10月1日現在)における管内市町の高齢化率をみると、小坂町が45.9%で全県10位、鹿角市が43.3%で同13位となっている。
- 県内9町の比較では、
小坂町は7位(1位:藤里町51.4%、2位:五城目町50.6%、3位:八峰町50.3%)、
県内13市の比較では、
鹿角市は5位(1位:男鹿市50.5%、2位:北秋田市47.1%、3位:仙北市45.8%、
4位:湯沢市43.7%)に、それぞれ位置している。
- 両市町とも、県平均を上回り、高齢化が進行している。

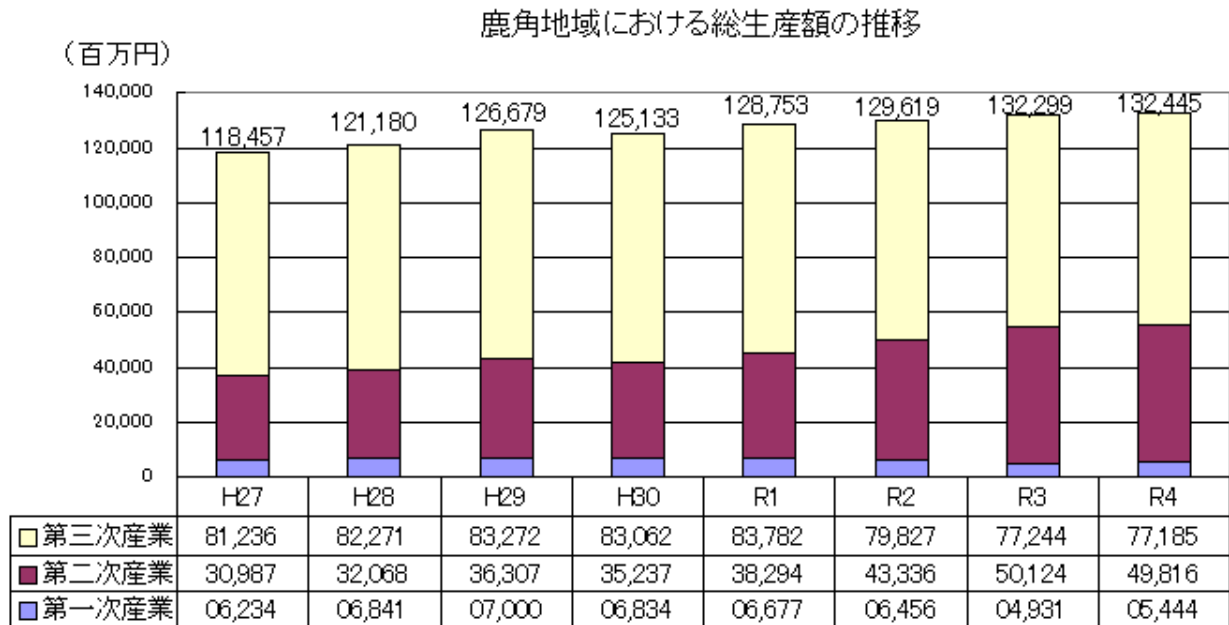


資料) H28～R6:調査統計課「令和6年秋田県の人口」

R12～R32:国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

3 経済・産業

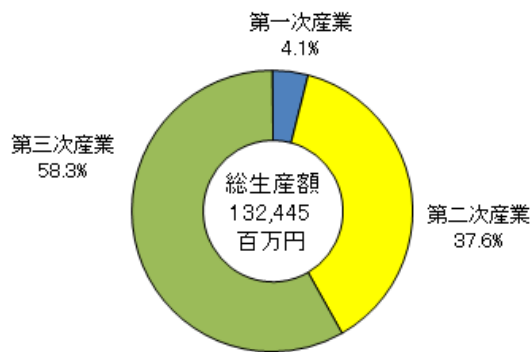
- 令和4年度における鹿角管内の総生産額は、約1,324億円となっており、県内総生産（36,474億円）の約3.6%を占めている。
- 管内の産業別総生産額では、第一次産業及び第二次産業の占める割合が全県平均に比して高くなっており、就業者の割合でも同様となっている。



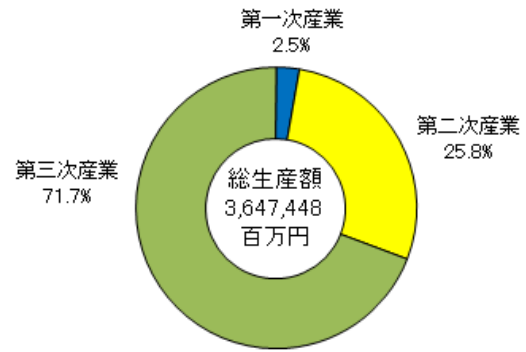
資料) 県調査統計課「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。

産業別総生産額の割合(鹿角)(R4年度)



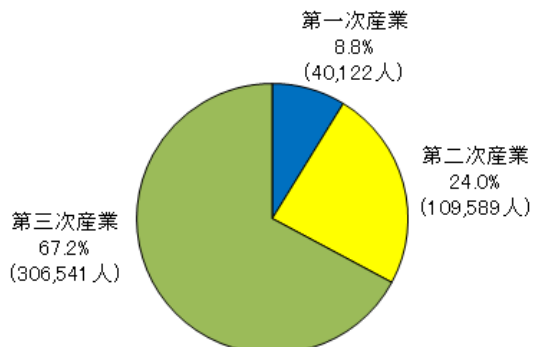
産業別総生産額の割合(全県)(R4年度)



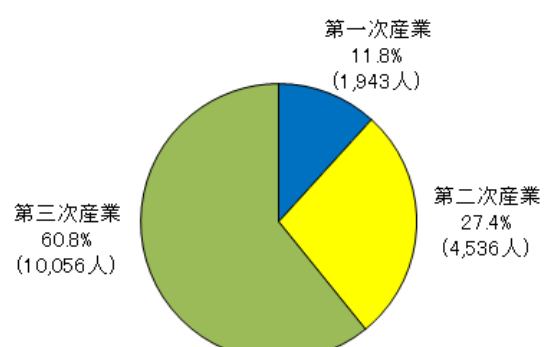
資料) 県調査統計課「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。

全県における産業別就業者割合



産業別就業者割合(鹿角)



資料) 総務省「令和2年国勢調査」

(1) 第一次産業（農林水産業）

- ・ 令和4年度の第一次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は5.7%である。
- ・ 鹿角地域は、平坦地でも標高が120mほどあり、8月の平均気温も18～23度と冷涼である。その地理的特性を活かし、「かづの北限の桃」やリンゴ等の果樹、キュウリやトマト等の畑作物、さらに、「桃豚」「八幡平ポーク」に代表される養豚を中心とした畜産部門も盛んであることが特色となっている。

地域別 第一次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	：	5,444
北秋田	：	11,732
山本	：	9,339
秋田	：	17,355
由利	：	9,927
仙北	：	18,821
平鹿	：	15,296
雄勝	：	8,327
計	：	96,241

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

(2) 第二次産業（鉱業・建設業・製造業）

- ・ 令和4年度の第二次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は4.8%である。

地域別 第二次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	：	49,816
北秋田	：	124,362
山本	：	48,832
秋田	：	273,211
由利	：	250,596
仙北	：	115,491
平鹿	：	91,236
雄勝	：	77,969
計	：	1,031,513

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

(3) 第三次産業（電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、サービス業等）

- 令和4年度の第三次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は3.1%である。

地域別 第三次産業生産額の構成比(R4年度)



【管内別総生産】

鹿角	77,185
北秋田	255,025
山本	183,117
秋田	1,193,444
由利	209,531
仙北	271,222
平鹿	210,794
雄勝	119,376

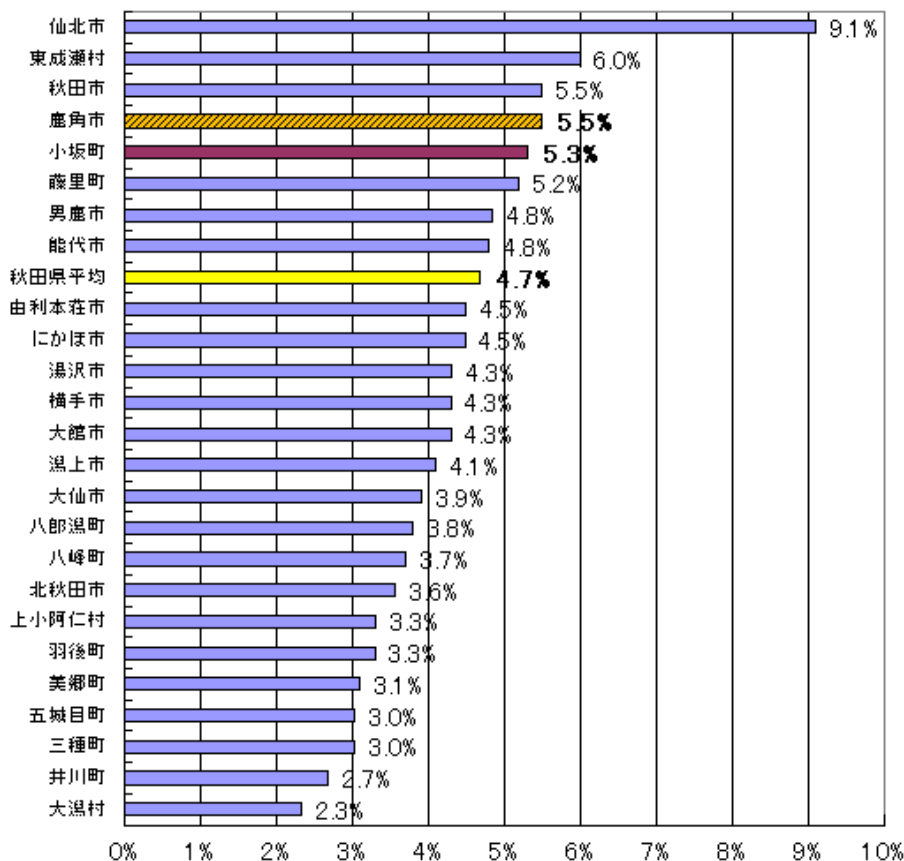
計：2,519,694

(単位:百万円)

資料)県調査「令和4年度秋田県市町村民経済計算年報」

- 令和2年国勢調査において、市町村ごとの就業人口に占める「飲食、宿泊業」従事者の割合をみると、鹿角市が5.9%、小坂町が5.3%、となっており、全県平均の4.7%を上回っている（25市町村中、鹿角市・小坂町が上から4番目と5番目に位置している）。

県内市町村別の就業人口に占める「飲食、宿泊業」者の割合



資料)総務省「令和2年国勢調査」

4 農業

○ 管内農業の主要指標

ア 農家戸数・認定農業者数

(単位：戸、人、%)

区 分	鹿 角 市	小 坂 町	管 内 計	秋 田 県	対全県比
総農家数	1,649	148	1,797(100%)	37,116(100%)	4.8
販売農家数	1,136	87	1,223(68%)	27,780(75%)	4.4
自給の農家数	513	61	574(32%)	9,336(25%)	6.1
認定農業者数 (市町認定分)	171	22	197	8,259	2.4
認定農業者数 (振興局認定分)	4				

「2020年農林業センサス」

・認定農業者数は、県集計による（令和6年3月末時点）

イ 耕地面積

(単位：ha、%)

区 分	鹿 角 市	小 坂 町	管 内 計	秋 田 県	対全県比
耕 地 面 積	6,100	841	6,941	146,400	4.7
田	3,500	469	3,969	128,400	3.1
畑	2,600	372	2,972	17,900	16.6
田 率	57.3	55.8	57.2	87.7	—
1戸あたり面積	3.70	5.68	3.86	3.94	—

「第70次東北農林水産統計年報(令和4、5年)」

・1戸あたり面積＝耕地面積／総農家数

ウ 農業産出額

(単位：億円)

区 分	管 内		秋 田 県		対全県比	
年	R3	R4	R3	R4	R3	R4
算出額	122.0 (100%)	129.6 (100%)	1,648.9 (100%)	1,670.0 (100%)	7.4%	7.8%
米	21.5 (17.6%)	20.8	876.3 (53.1%)	852.0 (51.0%)	2.5%	2.4%
畜 産	71.9 (58.9%)	79.9	347.2 (21.1%)	378.0 (22.6%)	20.7%	21.1%
野 菜	13.7 (11.2%)	13.9	285.0 (17.3%)	295.0 (17.7%)	4.8%	4.7%
果 実	11.3 (9.3%)	12.8	74.6 (4.5%)	85.0 (5.1%)	15.1%	15.1%
花 き	1.1 (0.9%)	1.2	12.9 (0.8%)	25.0 (1.5%)	8.5%	4.8%
その他	2.5 (2.1%)	1.0	52.9 (3.2%)	35.0 (2.1%)	4.7%	2.9%

「市町村別農業産出額（推計）

（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）」

エ 主要野菜の販売作付面積の推移（管内）

（単位：ha）

年	きゅうり	トマト	ねぎ	アスパラガス	えだまめ
H28	11.7	6.2	4.6	8.6	51.0
H29	11.5	6.0	4.6	10.0	50.0
H30	11.6	5.5	4.0	7.6	51.9
R 1	10.4	5.5	4.0	8.0	51.0
R 2	10.6	4.5	8.6	7.0	38.0
R 3	10.4	4.4	16.8	6.5	34.0
R 4	9.3	4.1	16.7	4.8	47.7
R 5	9.3	3.9	15.7	5.5	35.2
R 6	9.3	3.8	18.1	5.0	33.7

J Aかづの営農経済部調べ

オ 家畜飼養頭数の推移

（単位：戸、頭）

区 分	乳 用 牛				肉 用 牛												豚					
	戸数	頭 数			戸数	繁殖牛頭数					肥育牛頭数							戸数	頭 数			
		計	経産	育成		計	黒毛	短角	褐毛	F 1	計	黒毛	短角	褐毛	乳用	F 1	計		繁殖豚	育成豚	肥育豚	
鹿角市	7	317	210	107	44	671	496	157	1	17	587	201	162	-	-	224	6	58,509	5,358	454	52,697	
小坂町	-	-	-	-	10	75	57	4	15	-	20	14	1	5	-	-	4	57,782	5,093	303	52,536	
R 5計	7	317	210	107	54	746	553	161	15	17	607	215	163	5	-	224	10	116,291	10,451	757	105,083	
R 4 計	7	371	252	119	57	756	567	168	14	7	646	211	197	5	1	232	10	109,445	10,873	771	97,801	

「家畜改良関係頭羽数調査」（令和6年2月1日現在 速報値）

※ 乳牛の育成にヌレ子等を含む、豚に種雄豚は含まない、肥育牛に去勢子牛を含む。

カ 水田整備率（令和5年度完了分まで）

（単位：ha、％）

区 分	水田面積	整備済み面積		内 訳			
		(30a区画以上)		50a区画以上		1ha区画以上	
		面積	整備率	面積	整備率	面積	整備率
鹿角市	3,440	2,336.6	67.9	231.2	6.7	59.0	1.7
小坂町	470	397.6	84.6	65.8	14.0	14.6	3.1
管内計	3,910	2,734.2	69.9	297.0	7.6	73.6	1.9
全 県	128,100	93,051.5	72.6	32,446.8	25.3	22,393.8	17.5

「農地整備課 市町村別ほ場整備実施状況」

○ 管内林業の概要

- ・ 管内総土地面積の79.3%にあたる72,067haが森林で、そのうち国有林は65%、民有林は35%である。民有林の人工林のほとんどがスギである。
- ・ 管内民有林の人工林率は63%で、県平均の58%を上回っている。人工林の齢級構成は3齢級以下（1～15年生以下）が2%、4～10齢級（16～50年生）が47%、11齢級以上（51年生以上）が51%となっている。

○ 管内林業の主要指標

ア 森林面積

（単位：ha、%）

区 分	合 計	民 有 林	国 有 林
鹿角管内	72,067(100)	25,124(35)	46,942(65)
秋 田 県	839,602(100)	448,080(53)	391,522(47)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

イ 民有人工林の齢級別面積

（単位：ha、%）

区 分	合 計	3齢級以下	4～10齢級	11齢級以上
鹿角管内	15,627(100)	290(2)	7,434(47)	7,903(51)
秋 田 県	256,535(100)	4,010(2)	94,635(37)	157,890(61)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

ウ 林家戸数

（単位：戸、%）

区 分	総 数	保 有 規 模		
		1.0～ 5.0ha	5.0～10.0ha	10.0ha以上
鹿角管内	1,798(100)	1,564(87)	143(8)	91(5)
秋 田 県	27,697(100)	21,412(77)	3,444(13)	2,841(10)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

エ 林内道路現況

区 分	現 況 林 道		林道現況密度 (m/ha)	林内道路密度 (m/ha)
	路線数	延長(km)		
鹿角管内	58	126	5.2	14.0
秋 田 県	1,081	2,540	5.8	17.7

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

オ 特用林産物の生産量

(単位：kg、俵)

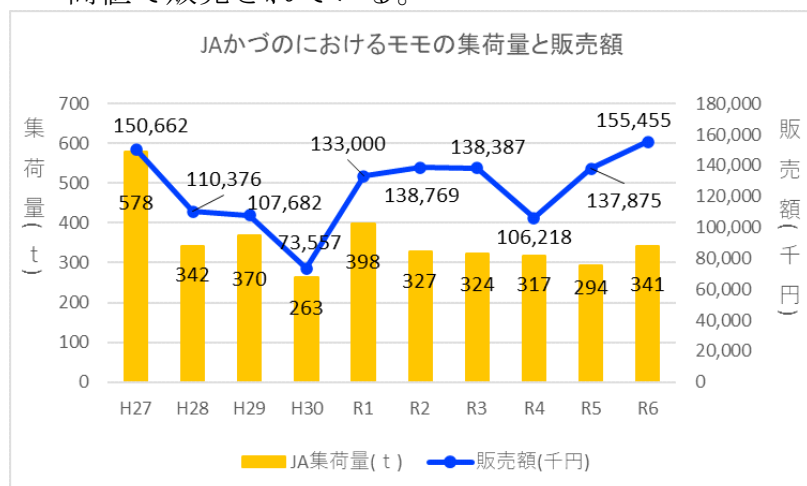
区 分	乾 しいたけ	生しいたけ		なめこ	ねまが りたけ	木炭(15kg俵)	
		原木	菌床			白炭	黒炭
鹿角管内	—	—	11,128	—	2,526	—	—
秋 田 県	2,539	90,465	4,050,739	283,003	6,951	3	151

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

○ 鹿角地域の主なブランド農畜産物

(1) かつの北限の桃

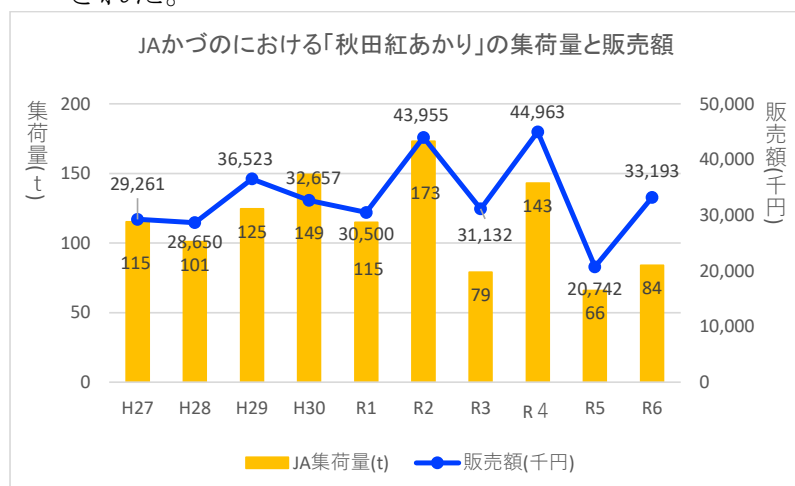
- ・ 鹿角地域の冷涼な気候を活かし、主力品種である「川中島白桃」は、9月上旬から中旬と全国でも最も遅い時期の出荷となっており、糖度の高さからも市場における評価が高い。
- ・ 令和6年度は8月～9月にかけて少雨で経過したことから、糖度が非常に高く、品質は良好であった。9月中旬以降に収穫の晩生種も品質、食味ともに良好であった。年々「北限の桃」の知名度が上がってきていることから、高値で販売されている。



県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」

(2) 秋田紅あかり

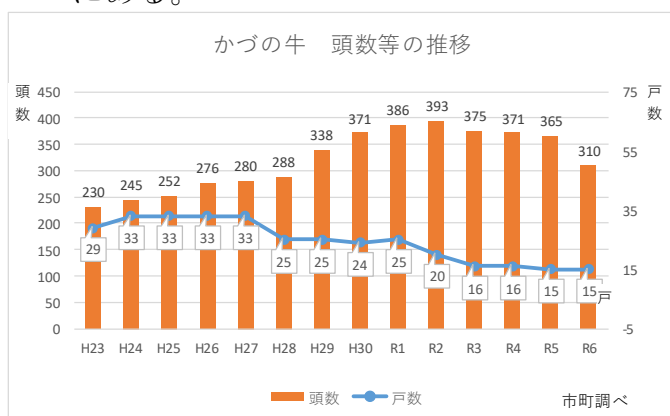
- ・ 鮮やかな紅色の外観と甘さが特徴の県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」は、冷涼な気候での栽培が向いていることから、鹿角地域が県を代表する産地となっている。
- ・ 令和6年は、6月中旬の降雹、8月の高温・少雨による日焼け果の発生が見られたものの、果実肥大は良好であったことから、前年よりもやや増収となった。品質は糖度は高かったものの、硬度、酸度はやや低めで、日焼け果由来の炭疽病、輪紋病の罹病により、商品価値が大きく低下した果実が散見された。



ブランド化が進む「かつの北限の桃」

(3) かづの牛

- 日本短角種である「かづの牛」は、黒毛和種に比べ脂身が少ない赤身肉であり、消費者の健康志向などから、その価値が高く評価され注目を集めている。
- また、地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等が認められ、令和7年1月30日付けで地理的表示に登録された。
- 鹿角市が「かづの牛」の振興を図るため、平成25年度から草地畜産基盤整備事業（公共事業）により進めた公共放牧場の草地整備・牛舎等の施設整備、県畜産農業協同組合の積極的な増頭や関係機関による消費拡大の取組の結果、平成以降、黒毛和種への品種切替や高齢化による廃業等で230頭まで減少が続いていた頭数が令和2年には393頭まで増加した。
しかし、その後は担い手の高齢化等により飼養戸数・頭数ともに減少傾向にある。

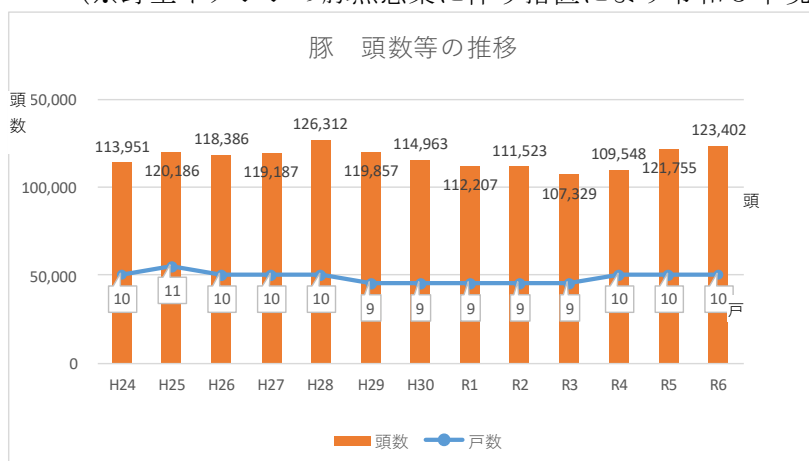


「かづの牛」の放牧風景

(4) 八幡平ポーク・桃豚

- 鹿角地域では企業経営による養豚が盛んで、管内の飼養頭数は約12万頭と県内頭数の約4割を占めている。特に、(農)八幡平養豚組合の「八幡平ポーク」、ポークランドグループの「桃豚」は、いずれも有名ブランドとなっており、両グループでは加工や輸出※にも取り組むほか、独自の直売店舗を設けるなど販売力の強化に積極的に取り組んでいる。

(※野生イノシシの豚熱感染に伴う措置により令和5年現在輸出は停止)



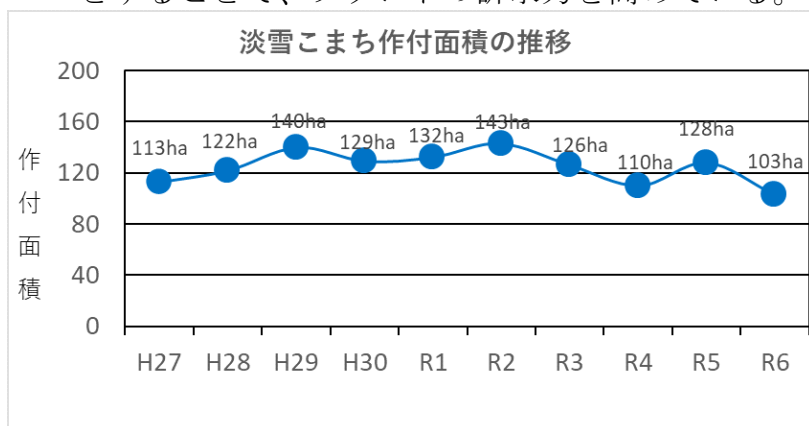
桃豚



八幡平ポーク

(5) 淡雪こまち

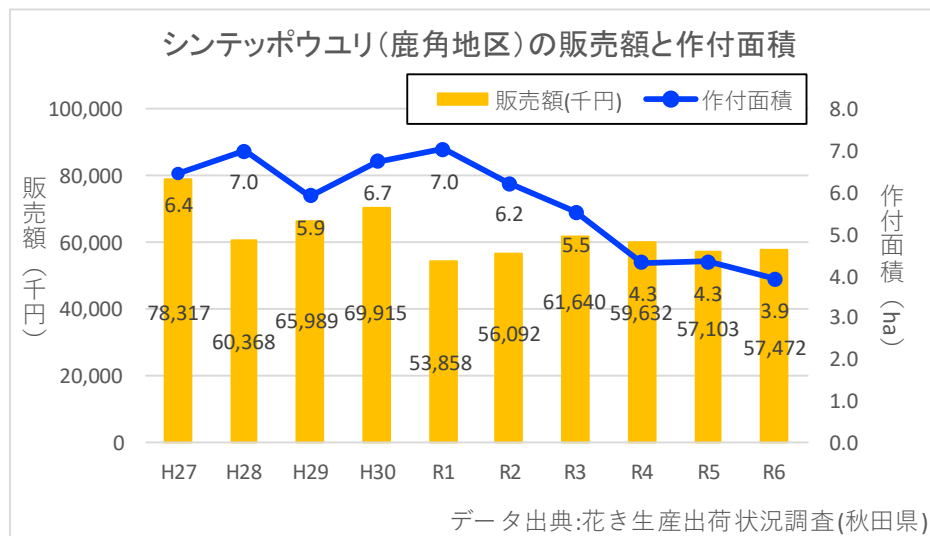
- ・ 鹿角地域のブランド米として作付けされている「淡雪こまち」は、鹿角地域の冷涼な気候により「低アミロース米」の特徴である「もちもち」、「ふっくら」とした食感が味わえると消費者や米卸業者等から高い評価を得ている。
- ・ 直播栽培により低コスト生産と出穂期の調整を図り、更に特別栽培を基本とすることで、ブランドの訴求力を高めている。



鹿角地域ブランド米
「淡雪こまち」

(6) シンテッポウユリ

- ・ 鹿角地域の気候に適した品種であり、現在、生産者は17戸で県内一の生産量となっており、「かづののユリ」として市場から高い評価を得ている。
- ・ 種を播いてから1年で花を咲かせるユリで、1年目は秋彼岸頃に収穫期を迎え、その後は球根をそのままほ場で越冬させる。2年目にはお盆頃に収穫となる。
- ・ R2年には秋田県オリジナル品種の無花粉シンテッポウユリ「あきた清ひめ」が市場デビューした。



「シンテッポウユリ」

(7) 松館しぼり大根

- ・ 鹿角市八幡平松館集落に古くから栽培されている大根で、その「しぼり汁」は独特の風味と極めて強い辛味があるため、薬味やつけ汁等おろし専用の大根として利用され、地域を代表する特産物の一つとなっている。
- ・ 百年以上の歴史があり、鹿角地域においても栽培しているのは松館地区だけで、他の地区に作付けしても「しぼり大根」独特の辛さがでないと言われている。
- ・ 収穫は10月下旬～11月中旬で、普通の大根より短く、短円筒形で身がしっかりしている。
- ・ 品質バラツキの解消のため、県農業試験場がF1品種「あきたおにしぼり」を育成、高品質で安定した供給が可能になった。
- ・ 平成30年4月9日、地域の特性を生かした農産物を保護する農林水産省の「地理的表示(GI)保護制度」に鹿角市で初めて登録された。

生産戸数及び栽培面積の推移

区分	生産戸数 (戸)	栽培面積 (ha)	販売額 (千円)
H27	12	3.0	3,000
H30	6	2.0	2,000
R 1	5	1.8	1,800
R 2	5	1.7	1,074
R 3	4	0.95	947
R 4	4	0.95	1,139
R 5	4	0.95	800
R 6	4	1.4	1,000

J A かつの調べ



鹿角の伝統野菜 松館しぼり大根

※ 地理的表示(GI)保護制度

品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結び付いている産品について、その名称と産品を知的財産として保護する制度。

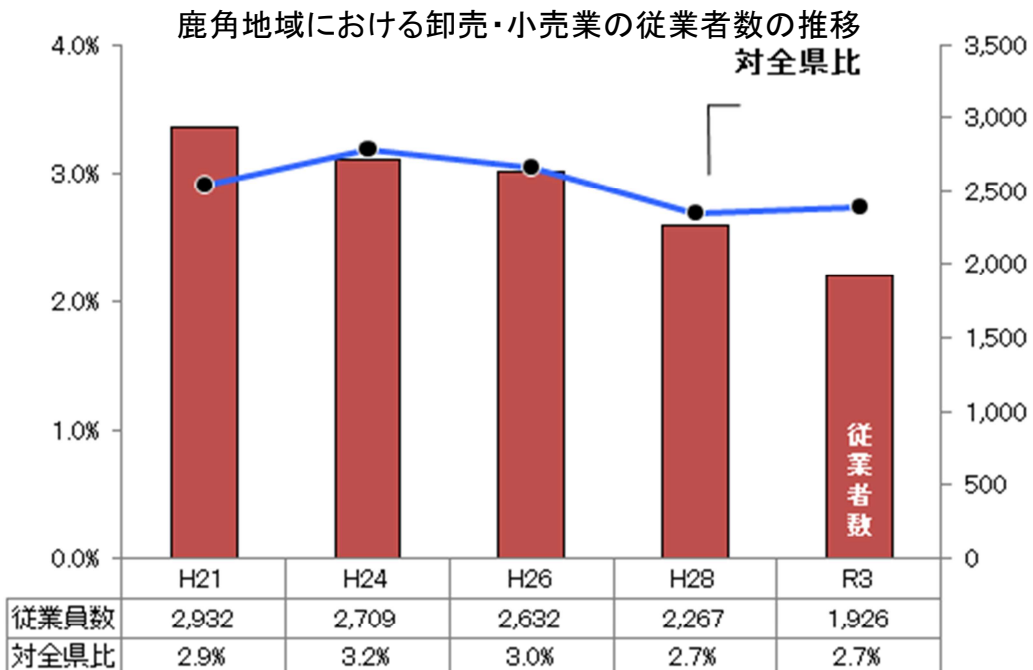
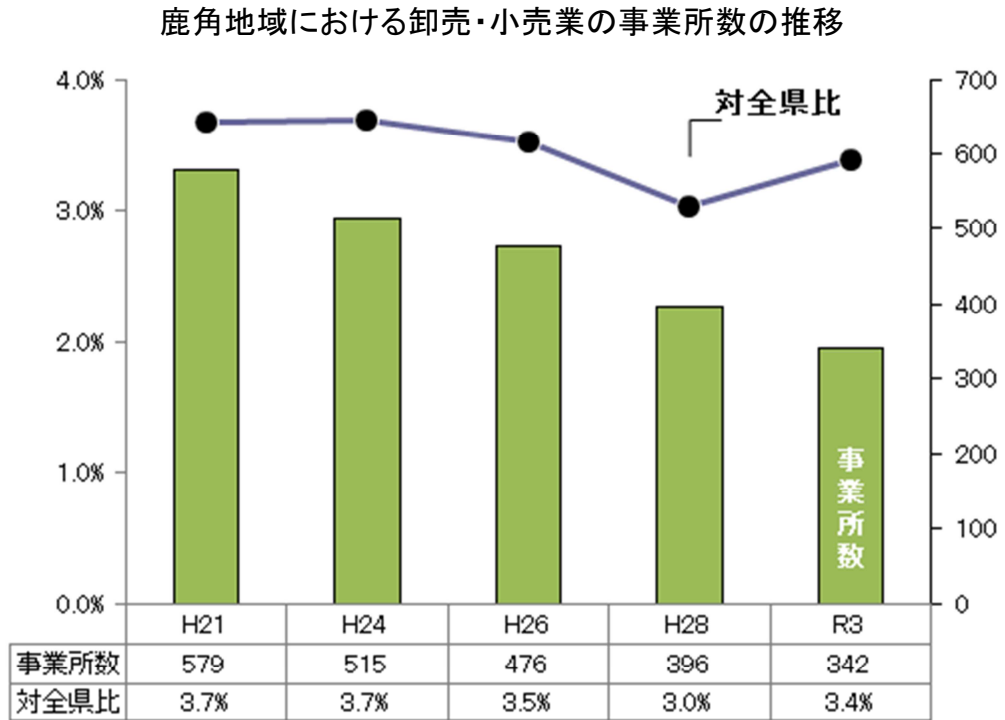
登録される産品には、品質や社会的評価などの「産品の特性」と、生産地の気候や風土、土壌などの「自然的な特性」や、伝統的な製法・文化などの「人的な特性」が結びついていることが求められる。

5 商業

○ 鹿角地域の卸売・小売業の状況

管内の卸売・小売業の事業所数及び従業員数は減少傾向にある。

総務省「経済センサス」によると平成 21 年には事業所数が 579 箇所、従業者数は 2,932 人だったが、令和 3 年にはそれぞれ 342 箇所、1,926 人に減少している。



資料) 総務省「経済センサス」

※各年の調査対象事業所の相違等のため、単純比較はできない。

6 工業

○ 工業立地の動向

- ・ 鹿角地域には、「鹿角工業団地」「鹿角市産業団地」（鹿角市）及び「三ツ森工業団地」（小坂町）の3つの工業団地を中心に、令和6年3月末現在、16社（17事業所）の県誘致企業が操業している。
- ・ 平成25年11月には、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジ～小坂ジャンクション間が開通し、特に小坂町への交通アクセスが大きく向上した。

鹿角地域における県誘致企業一覧（令和6年3月末現在）（サービス業等を除く）

	誘致年度	所在地	企 業 名	業 種（主要製品）
1	昭和42年度	鹿角市	昭和第一産業(株) 尾去沢工場	衣服（ユニフォーム、雨衣）
2	昭和45年度	〃	山口電機工業(株) 秋田工場	輸送用機械（自動車電装部品）
	平成28年度	〃	山口電機工業(株) 秋田第二工場	輸送用機械（自動車用イグニッションパーツ）
3	昭和46年度	〃	十和田精密工業(株) 秋田工場	金属製品（ＡＴＭ、券売機等の板金加工）
4	昭和60年度	〃	鹿角コネクタ(株)	電気機械（通信機器用高周波同軸コネクタ）
5	〃	小坂町	(株)エドウィン小坂ジーンズ →H29.9 秋田ホーセ（株）小坂工場に吸収合併後、R3.8.31 工場閉鎖	衣服（ジーンズ、シャツ）
6	昭和61年度	〃	東邦工業(株) 秋田工場	プラスチック（プラスチック成形品）
7	昭和62年度	鹿角市	新化食品(株) 花輪工場	食料品・飲料等（フルーツ加工品）
8	〃	小坂町	(株)カミテ	金属製品（ラジオ全面パネル、バックモニターブラケット）
9	昭和63年度	鹿角市	アイデックス(株)	電気機械（コネクタ）
10	〃	小坂町	秋田リサイクル・アンド・ファインパック(株) →R4.4 小坂製錬（株）へ統合	非鉄金属リサイクル（リサイクル原料の前処理）
11	平成元年度	鹿角市	(株)佐藤ダンボール 鹿角工場 →R1.7 (株)北原紙器製作所秋田工場が事業承継	パルプ・紙（段ボール製品製造販売、包装資材）
12	平成3年度	小坂町	(株)日本ピージーエム 小坂工場	非鉄金属リサイクル（白金族金属回収）
13	平成16年度	鹿角市	(株)シーティーイー 鹿角事業所 →R3.3 事業停止	情報処理等（ＤＴＰ制作）
14	平成19年度	小坂町	オートリサイクル秋田(株)	非鉄金属リサイクル（鉄スクラップ・非鉄製錬原料他）
15	〃	〃	エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場	非鉄金属リサイクル（貴金属回収、製錬原料）
16	平成22年度	鹿角市	(株)十和田ソーラー →H29.10 十和田オーディオ(株)に事業譲渡	電気機械（太陽光モジュール、太陽光発電システム）

資料）工業振興の概要

鹿角地域の工業団地一覧（令和6年3月末現在）

	鹿角工業団地	鹿角市産業団地	三ツ森工業団地
造成主体	秋田県	鹿角市	小坂町
団地面積	21.8 ㍒	2.4 ㍒	3.0 ㍒
分譲済面積	14.8 ㍒	2.3 ㍒	2.9 ㍒
未分譲面積	3.5 ㍒	0 ㍒	0 ㍒
立地企業数	4	2	5

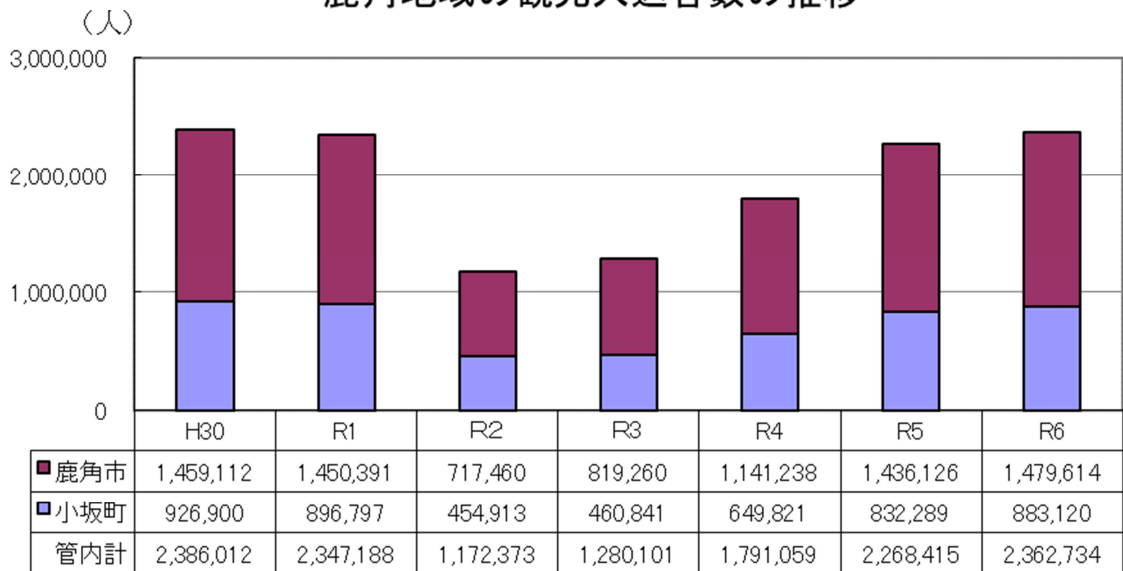
資料）工業振興の概要

7 観光

(1) 観光入込客数

- 鹿角管内における観光入込客数は、平成 28 年以降、約 230 万人で推移していたが、令和 2 年以降は「新型コロナウイルス感染症」の影響で大きく減少し、約 120 万人で推移していた。令和 4 年からは回復傾向にあり、令和 5 年は新型コロナが 5 類移行し、コロナ以前の水準に戻り、令和 6 年は、概ね前年よりも客数が増加している。

鹿角地域の観光入込客数の推移



資料) 鹿角地域振興局総務企画部調べ(各年の調査期間は、1月1日から12月31日まで(暦年))

主な観光施設別観光客数

(単位: 人)

【鹿角市】	R5	R6	【小坂町】	R5	R6
道の駅かづの	253,654	263,549	康楽館	30,245	30,854
八幡平ビジターセンター	30,349	30,598	小坂鉱山事務所	14,201	17,441
史跡尾去沢鉱山	26,714	28,865	小坂鉄道レールパーク	9,028	10,631
大湯ストーンサークル館	29,392	23,693			

資料) 県観光戦略課「秋田県観光統計」

※R6 年は「秋田県観光統計」に未掲載のため、鹿角地域振興局総務企画部調べ

主な行祭事別観光客数

(単位: 人)

【鹿角市】	R5	R6	【小坂町】	R5	R6
花輪ばやし	225,000	198,000	アカシアまつり	20,000	16,000
花輪ねふた	23,000	25,000	小坂七夕まつり	2,500	1,500
毛馬内盆踊	15,000	14,000	クリスマスマーケット	4,000	7,000
毛馬内月山神社祭典	16,000	16,000			
大日堂舞楽	4,000	5,000			

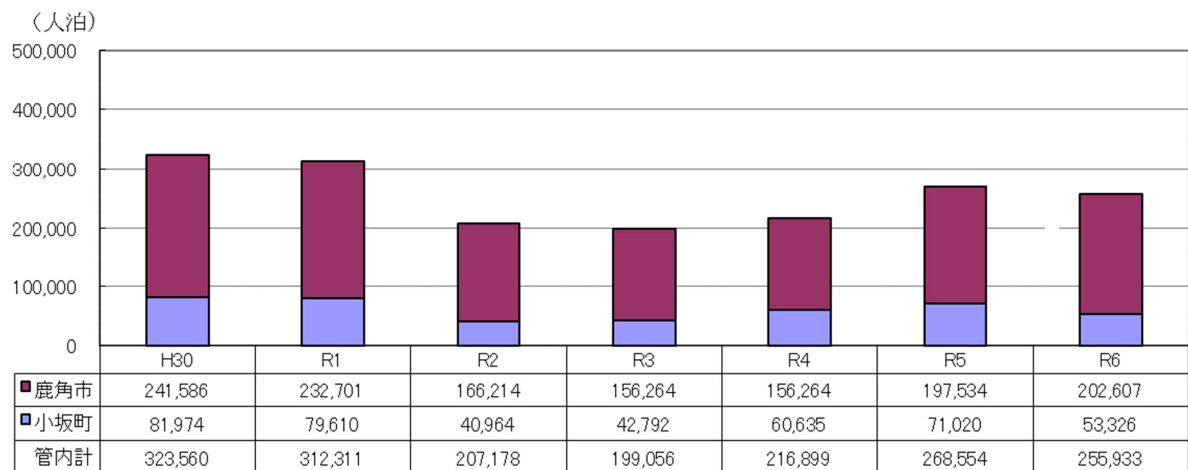
資料) 県観光戦略課「秋田県観光統計」

※R6 年は「秋田県観光統計」に未掲載のため、鹿角地域振興局総務企画部調べ

(2) 宿泊者数

- 鹿角管内における宿泊者数は、平成 28 年以降、約 30 万人で推移していたが、令和 2 年以降は、約 20 万人で推移している。令和 4 年に関しては、県で実施した宿泊キャンペーンの効果もあり、回復傾向にある。令和 5 年は新型コロナ 5 類移行の影響などから、客数が増加している。令和 6 年は鹿角市の入込が増えたものの、小坂町の入込が減り、全体的に減少した。

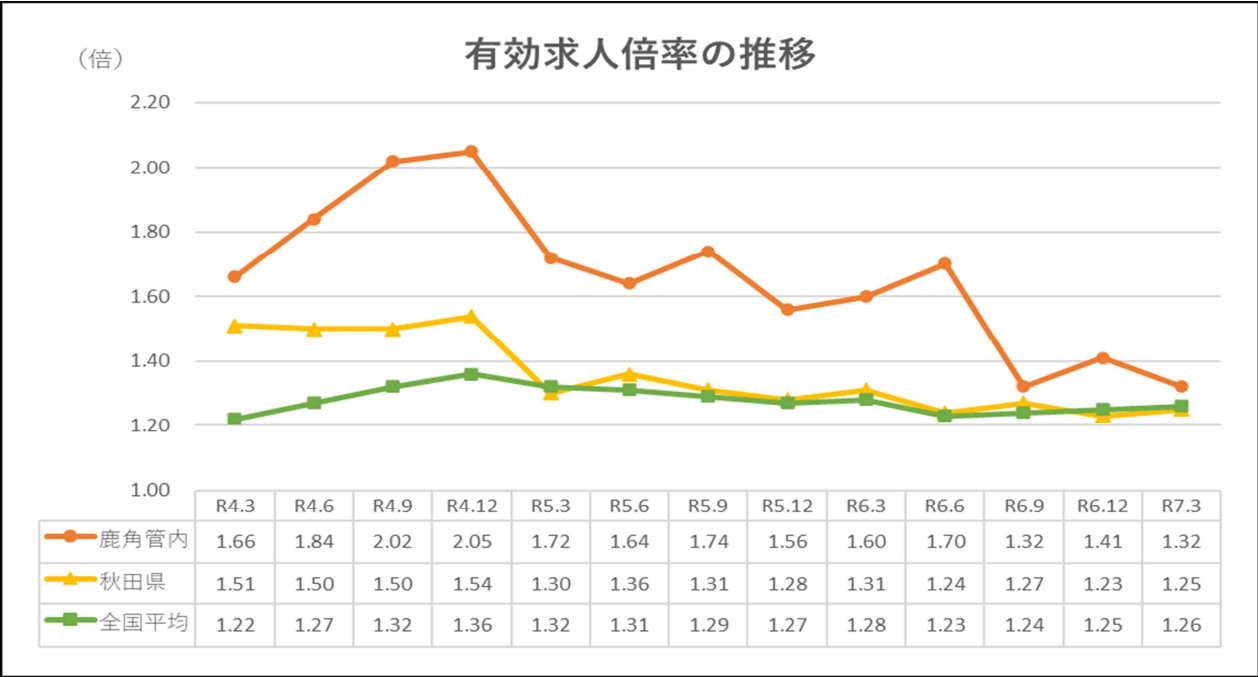
鹿角地域の延べ宿泊者数の推移



資料) 鹿角地域振興局総務企画部調べ(各年の調査期間は、1月1日から12月31日まで(暦年))

8 雇用

- 管内の有効求人倍率（常用）は、近年高水準で推移しており、県や全国平均より高い傾向となっている。
- 令和7年3月の有効求人倍率 1.32 倍は、能代管内の 1.39 倍に続いて県内で 2 番目に高い値となっている。



資料) 管内：鹿角公共職業安定所 労働市場の動向 秋田県及び全国：秋田労働局 秋田県内の雇用情勢

- 鹿角管内の令和7年3月新規高卒者の就職動向は、令和7年3月末時点で就職希望者 45 名全員が内定している。
- 就職内定者 45 名は、令和6年3月新規高卒者と比較して 15 名の減少である。また、うち県内への就職内定者は 38 名であり、3 名の減少となった。

令和7年3月末における管内新規高卒者の就職動向

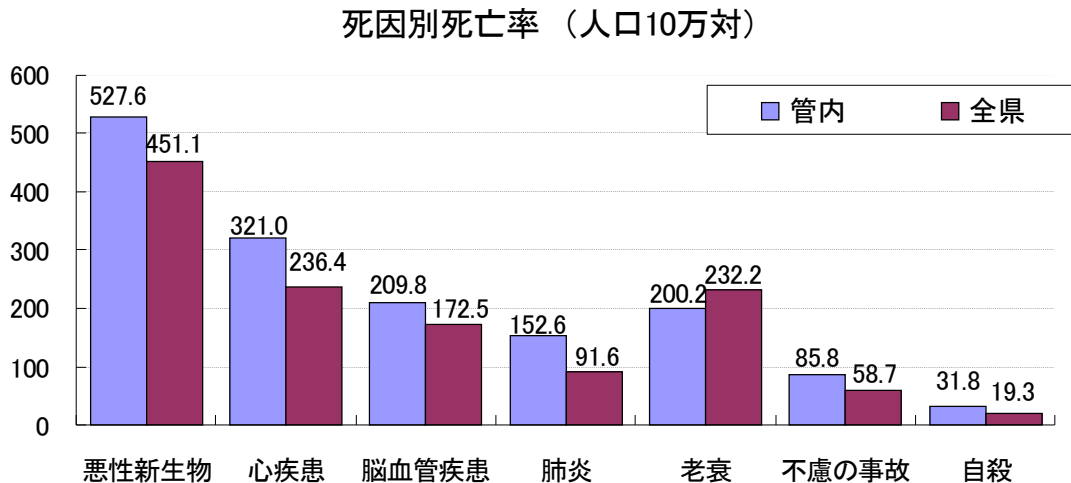
		就職希望者数(人)			内定者数(人)			県内就職率	県内就職内定・決定率	県外就職内定・決定率
		県内	県外	計	県内	県外	計			
ハローワーク 鹿角管内	R7.3卒	38	7	45	38	7	45	84.4%	100.0%	100.0%
	R6.3卒	41	19	60	41	19	60	68.3%	100.0%	100.0%
全県	R7.3卒	1,235	361	1,596	1,225	361	1,586	77.2%	99.2%	100.0%
	R6.3卒	1,165	396	1,561	1,158	394	1,552	74.6%	99.4%	99.5%

資料) 秋田労働局 新規高校卒業者職業紹介状況より鹿角地域振興局総務企画部作成

9 保健・医療・福祉

(1) 死亡率・死因別死亡率

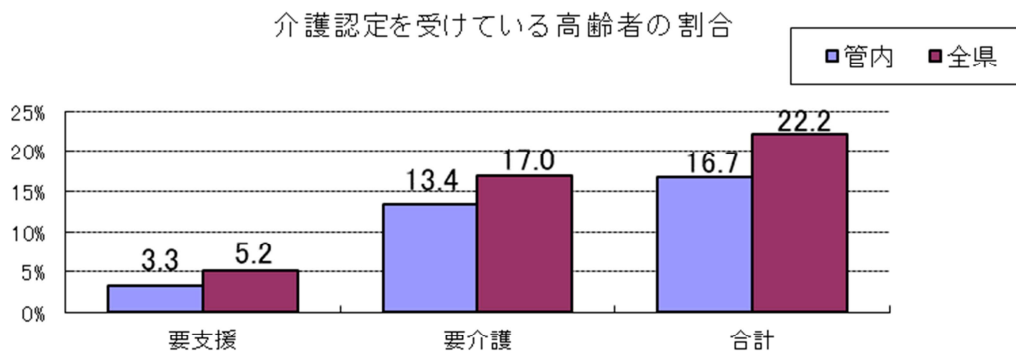
- 管内の死亡率（人口10万対）は2,396.5であり、全県の1,917.5と比較して高い。
- 死因別に見ると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順となっており、全県と比較すると、心疾患と脳血管疾患、肺炎の値が著しく高くなっている。



「令和5年秋田県衛生統計年鑑」を基に鹿角地域振興局福祉環境部作成

(2) 介護認定の状況

- 介護保険の要支援または要介護の認定を受けている高齢者（65歳以上）は2,344人で、管内の高齢者に占める割合は16.7%となっている。



資料）県長寿社会課調べ要支援者数・要介護者数（R7.3.31現在）及び県調査統計課「令和6年秋田県年齢別人口流動調査結果

※小数点以下第四位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(3) 医療施設の状況

- 管内医療施設は、病院 3 施設、一般診療所 19 施設、歯科診療所 12 施設となっている。病床数は、病院と診療所を合わせ、373 床である。

区 分	病 院		一般診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数
管 内	3	352	19	21	12
全 県	64	13,453	792	538	397

資料) 鹿角地域振興局福祉環境部調べ (R7.3.31 現在)

(4) 保健福祉施設の状況

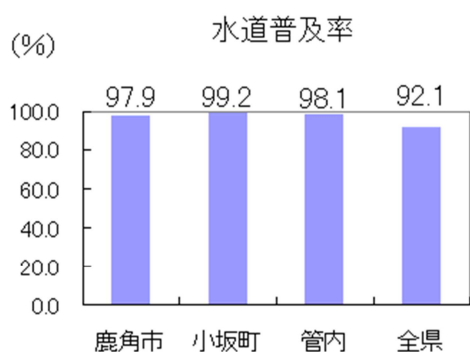
施設等の種類		鹿角市	小坂町	管内計
老人福祉施設				
	養護老人ホーム	1	0	1
	軽費老人ホーム	1	1	2
	老人福祉センター	1	1	2
介護保険施設				
	介護老人福祉施設 (特養)	6	2	8
	介護老人保健施設 (老健)	4	0	4
	介護療養型医療施設	0	0	0
	介護医療院	2	0	2
介護保険施設				
	地域包括支援センター	4	1	5
	通所介護	4	1	5
	訪問介護	7	0	7
	短期入所生活介護	9	4	13
	居宅介護支援事業所	8	3	11
地域密着型サービス事業所				
	小規模多機能型居宅介護	2	0	2
	認知症対応型通所介護	3	1	4
	認知症対応型共同生活介護	7	1	8
有料老人ホーム		2	1	3
障害者総合支援法指定事業所				
	介護給付	30	11	41
	訓練等給付	13	5	18
	相談支援事業所	7	11	18
児童福祉施設				
	児童発達支援	2	0	2
	放課後等デイサービス	1	0	1
	保育所等訪問支援	1	0	1
	福祉型障害児入所施設	1	0	1
	母子生活支援施設	1	0	1
	児童館 (法対象)	1	1	2
地域子育て支援センター		1	0	1

資料) 鹿角地域振興局福祉環境部調べ (R7.4.1 現在)

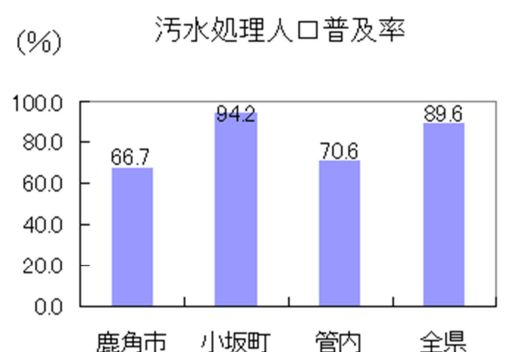
10 生活・環境

(1) 水道・下水道

- 管内の水道施設は、米代川水系の表流水や取水等を水源として整備されており、水道普及率は98.1%と、全県平均の92.2%を上回っている。
- 管内の公共下水道、農業集落排水等による污水处理人口普及率は、70.6%となっており、全県平均の89.6%を下回っている。



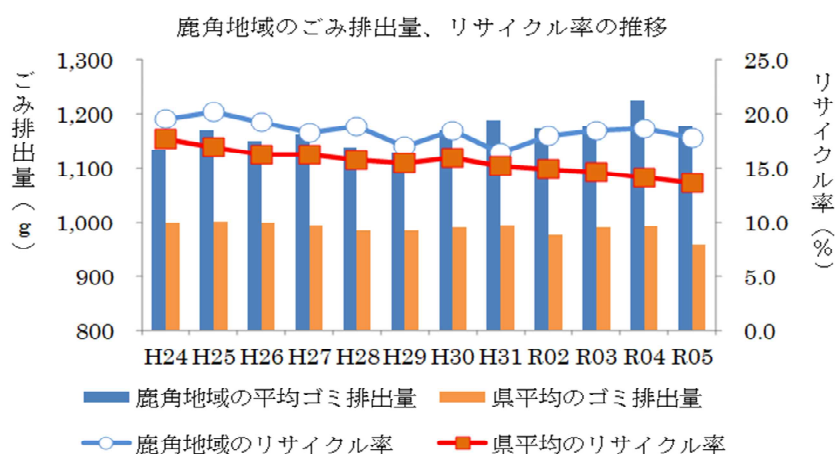
資料) R5水道施設現況調査(R6.3.31現在)



資料) 2024あきたの下水道(R6.3.31現在)

(2) 一般廃棄物

- 家庭や事業所から排出される一般廃棄物は、各市町の処理計画に基づき焼却処理、最終処分等が行われており、3R（リデュース<抑制>、リユース<再使用>、リサイクル<再生利用>）にも取り組まれている。
- 鹿角地域における1人1日あたりのごみ排出量は、1,177グラムであり、県平均の959グラムを上回っている。
- 排出されたゴミのリサイクル率は、17.8%となっており、県平均の13.6%を上回っている。

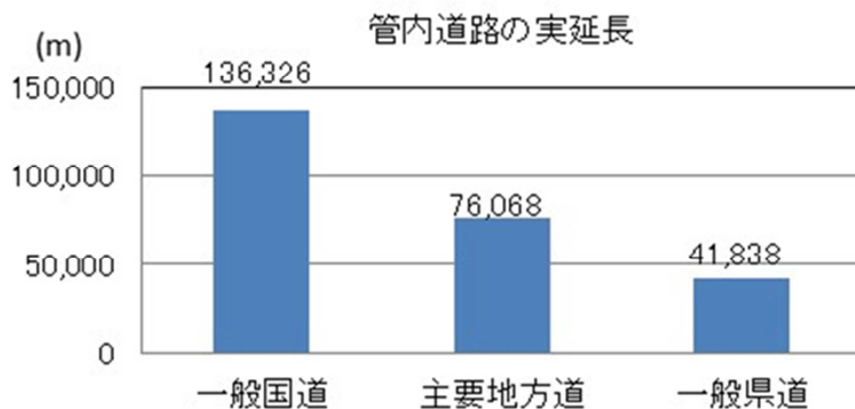


資料) 一般廃棄物処理実態調査(環境省)より推計

11 道路・河川

(1) 道路

- 管内の道路は、国道、県道を合わせて 14 路線、実延長 254,232m となっている。



	路線名	起点	終点	管内実延長(m)
国道	103号	青森県青森市	秋田県大館市	39,320
	104号	青森県八戸市	秋田県大館市	10,670
	282号	岩手県盛岡市	青森県平川市	44,420
	341号	秋田県鹿角市	秋田県由利本荘市	25,221
	454号	青森県八戸市	青森県大鰐町	16,695
	計			136,326

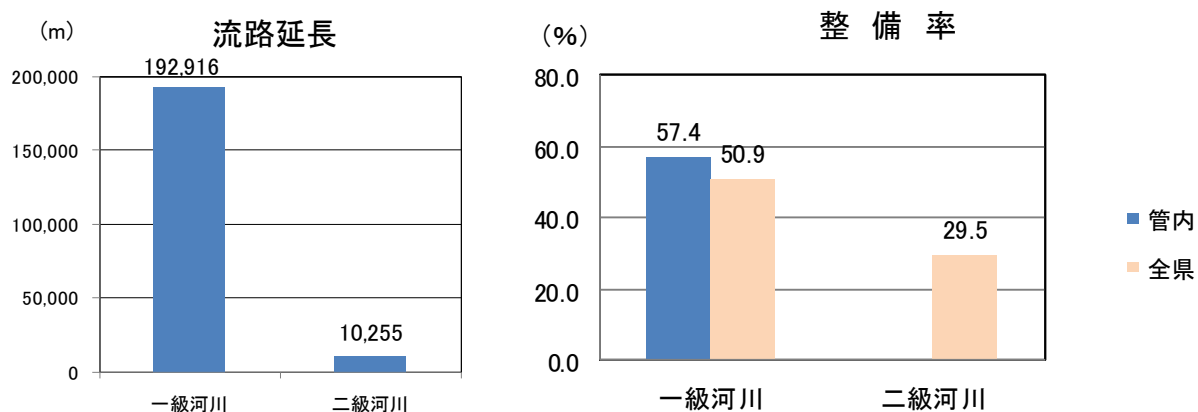
県道路課調 R5.3.31現在

	路線名	管内実延長(m)	規格改良済
主要地方道	大館十和田湖線	27,940	90.0%
	比内大葛鹿角線	7,431	98.9%
	大更八幡平線	15,961	100.0%
	十二所花輪大湯線	24,736	80.8%
	小計	76,068	89.9%
一般県道	田代平大清水線	9,122	100.0%
	田山花輪線	12,906	25.4%
	根瀬尾去沢線	13,599	97.2%
	雪沢十和田毛馬内線	5,298	8.5%
	八幡平公園線	913	100.0%
	小計	41,838	64.5%

県道路課調 R5.3.31現在

(2) 河川

- 管内を流れる河川は、一級河川米代川水系 22 河川と二級河川十和田湖の計 23 河川で、総延長は 203,171m となっている。



県河川砂防課 (R7.3.31 現在)

※二級河川 (十和田湖) は築堤不要であり、整備率としての数値無し

(3) 土砂災害危険箇所等整備状況

管内の土砂災害危険箇所 (土石流・急傾斜地崩壊対策・地すべり箇所) は 203 箇所あり、そのうち概成・着手済み箇所は 77 箇所となっている。

		鹿角市	小坂町	計
危険箇所	土石流箇所	65	38	103
	急傾斜地崩壊箇所	71	15	86
	地すべり箇所	11	3	14
概成・着手済み	土石流箇所	17	13	30
	急傾斜地崩壊箇所	38	8	46
	地すべり箇所	2	1	3

鹿角地域振興局建設部調べ (R7.3.31 現在)

※土石流・急傾斜地崩壊箇所についてはランクⅠを計上
(ランクⅠ：保全家 5 戸以上等の溪流)

	〒018-5292 花輪字荒田 4 番地 1 ☎ (0186) 30-0203 F A X (0186) 30-1122 ウェブサイト https://www.city.kazuno.lg.jp/ Eメール info@city.kazuno.lg.jp			主な地域指定	一部事務組合加入事業	公 営 企 業	
				過疎 辺地 豪雪 特別豪雪 振興山村 地方拠点 促進区域 特定農山村	議員公務災害 ごみ処理 非常勤公務災害 火葬場 退職手当 し尿処理 常備消防 その他	上水道 下水道	
	類型	I - 1	コード番号	052094			基本構想
						基本計画	令 3 〜 令 7 年度

< 概 要 >

(1) 面積 (県内 8 位)

総面積 (令6.7.1)	耕地 (令4.7.15)	宅地 (令5.1.1)	山林 (令5.3.31)
707.52km ²	61.00km ²	10.83km ²	574.34km ²

(2) 人 口 (県内10位)

平22年国調		平27年国調		令 2 年国調		令 6 年 1. 1 住基	
34,473		32,038		29,088		27,714	
人口増減率 (H27-R 2)	△9.2%	高 齢 化 率 令 6. 7. 1	43.8%	人 口 密 度		39.17 人/㎥	

(3) 世帯数

平22年国調	平27年国調	令 2 年国調	令6年1.1住基
11,831	11,508	10,978	12,533

(4) 選挙人名簿登録者数（令6.10.14現在）

男	女	計
11,379	12,685	24,064

(5) 沿 革

昭47. 4. 1	合体（市制施行） 花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村
-----------	--------------------------------

<組 織>

(1) 議 会 (令 6. 10. 1 現在)

議長	なかやま 中山 一男	議員数	条例定数	18人
副議長	くりやま 栗山 尚記			
議員任期	令7.3.31	党派別 内訳	公明 1	無所属 16

(2) 二役 (令 6, 10, 1 現在)

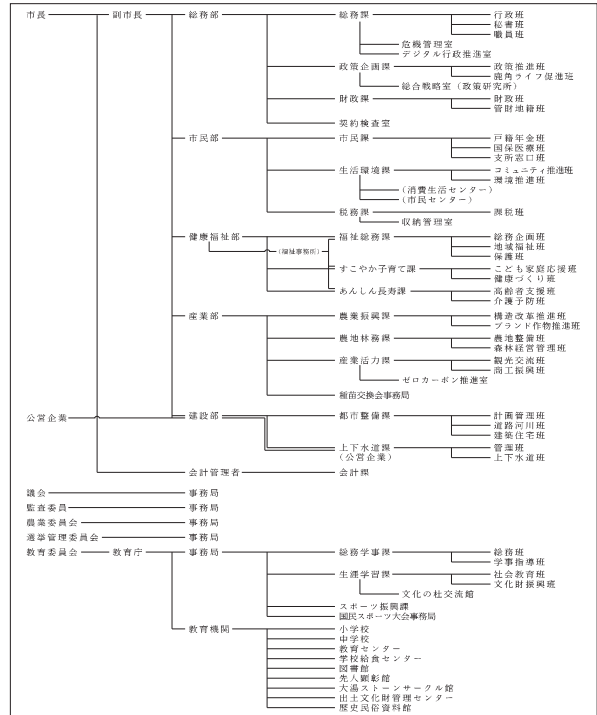
市 長	さき 関 あつし 厚 (1期～令7.7.2)	副市長	ます 舩 や 屋 なお 修 み 美
-----	---	-----	--

＜その他・PRキャラクター＞

- 友好・姉妹都市等 国内
 - ・ ショプロン市（ハンガリー共和国）・武威市涼州区（中国）
- 連携交流都市
 - ・ 東京都葛飾区
- 名所・旧跡
 - ・ 世界文化遺産および特別史跡「大湯環状列石」
 - ・ 史跡尾谷沢鉾山・湯瀬溪谷・錦木塚
 - ・ 鹿角観光ふるさと館あんたらあ（道の駅かづの）
 - ・ 大湯滝めぐり・中滝ふるさと学舎
 - ・ 十和田八幡平国立公園・大日堂
 - ・ 東川クリエーションエリア・湯の駅おおゆ（道の駅おおゆ）



<行政機構>



＜産業・経済＞

(1) 産業構造

区 分		総生産額（令3年度）		就業人口（令2年国調）	
		実額(百万円)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
第一次	農 業	2,636	3.0	1,776	12.4
	林 業	439	0.5		
	水産業	0	0.0		
	計	3,075	3.5		
第二次	鉱 業	379	0.4	3,840	26.7
	製造業	10,933	12.5		
	建設業	7,584	8.7		
	計	18,896	21.6		
第 三 次		65,438	74.9	8,718	60.7
分 類 不 能				37	0.2
輸入品に課される税・関税等		- 165			
合 計		87,244	100.0	14,371	100.0

(2) 一人当たり分配所得

一人当たり分配所得	県内 12 位	2,358 千円
-----------	---------	----------

(3) 主要農産物・名産・特産品

米（淡雪こまち）・りんご（ふじ・秋田紅あかり他）
北限の桃・かづの牛（日本短角種）・ハ幡平ポーク
松館しぼり大根・秋田フキ・葉たばこ・きゅうり・トマト
ネギ・枝豆・アスパラガス・シンテツポウユリ・きりたんぽ
そば・ホルモン・落花生

- ・(祭・行事) ユネスコ無形文化遺産「大日堂舞楽」(1月2日)
- ・ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事(花輪ばやし)」(8月19日～20日)
- ・ユネスコ無形文化遺産「(風流踊)毛馬内の盆踊」(8月21日～23日)
- ・大湯太鼓まつり(8月15日)

	〒017-0292 小坂字上谷地41番地1 ☎ (0186) 29-3901 F A X (0186) 29-5481 ウェブサイト https://www.town.kosaka.akita.jp/ Eメール soumu@town.kosaka.akita.jp		主な地域指定 過疎 辺地 豪雪 振興山村 地方拠点 促進区域 特定農山村	一部事務組合加入事業 議員公務災害 火葬場 非常勤公務災害 常備消防 退職手当 し尿処理 ごみ処理 電算システム その他	公 営 企 業 水道 下水道 介護サービス	
	類型 I-2	コード番号 053031	基本構想 令3～令12年度 基本計画 令3～令7年度			

<概 要>

(1) 面 積 (県内20位)

総面積 (令6.7.1)	耕地 (令4.7.15)	宅地 (令5.1.1)	山林 (令5.3.31)
201.70km ²	8.41km ²	2.57km ²	146.33km ²

(2) 人 口 (県内20位)

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令6年1.1住基
6,054	5,339	4,780	4,550

人口増減率 (H27-R2)	△10.5%	高齢化率 令6.7.1	46.9%	人口密度	22.56 人/km ²
-------------------	--------	----------------	-------	------	----------------------------

(3) 世 帯 数

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令6年1.1住基
2,348	2,168	2,043	2,254

(4) 選挙人名簿登録者数 (令6.10.14現在)

男	女	計
1,852	2,174	4,026

(5) 沿 革

昭30.4.1 合体 七滝村、小坂町

<行政機構>

町 長

副町長

会計管理者

教育委員会

議 会

監 査 委 員

農 業 委 員 会

選挙管理委員会

総 務 課

町 民 課

福 祉 課

観 光 産 業 課

建 設 課

出 納 室

事 務 局

事 務 局

事 務 局

事 務 局

<産業・経済>

(1) 産業構造

区 分	総生産額 (令3年度)		就業人口 (令2年国調)		
	実額(百万円)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	
第一次	農 業	1,765	3.9	167	7.6
	林 業	89	0.2		
	水産業	2	0.0		
	計	1,856	4.1		
第二次	鉱 業	0	0.0	696	31.5
	製造業	27,036	60.2		
	建設業	4,192	9.3		
	計	31,228	69.6		
第三次	11,806	26.3	1,338	60.7	
分類不能			5	0.2	
輸入品に課される税・関税等	-85				
合 計	44,805	100.0	2,206	100.0	

(2) 一人当たり分配所得 (令3年度)

一人当たり分配所得	県内 1 位	4,586 千円
-----------	--------	----------

(3) 主要農産物・名産・特産品

桃豚・米・ぶどう・十和田湖ひめます
 小坂七滝ワイン・アカシア蜂蜜・竹の子
 菜々の油

<その他・PRキャラクター>

● 名所・旧跡

- ・十和田湖・小坂鉱山事務所・康楽館・七滝
- ・紫明亭展望台・発荷峠展望台・笹森展望所・滝ノ沢展望台
- ・樹海ライン・天使館・中小路の館
- ・小坂鉄道レールパーク・小坂町赤煉瓦にぎわい館
- ・郷土館

● PRキャラクター



(かぶきん)

(祭・行事) ・十和田湖冬物語(冬季)・ヒメマス稚魚の放流(6月)・アカシアまつり(6月)・十和田湖山開き(6月)
 ・十和田湖湖水まつり(7月)・康楽館歌舞伎大芝居・小坂七夕祭(8月)・小坂・鉄道まつり(10月)
 ・クリスマスマーケット in 小坂(12月)

13 教育

- 管内の学校数は、小学校 7 校、中学校 5 校となっている。
- 児童数は、小学校児童数 1,092 人(59 人減)、中学校生徒数 672 人(57 人減)であり、昨年度に比べ、合わせて 116 人の減となっている。(令和 7 年 4 月 1 日現在)
- 児童数の減少に伴い、鹿角市内小学校(尾去沢小)では、昨年に引き続き複式学級が設置された。今後も管内の小学校では、児童数・学級数の減少が予想され、新たな複式学級の設置も考えられる。
- 小坂小学校・小坂中学校は、隣接型小中一貫教育校である。
中学校長が小学校長を兼任し、小学校の教頭、中学校の教頭のほか、統括教頭を 1 名置き、9 年間を見通した小中一貫教育カリキュラムを実施している。
- 高等学校は、鹿角高校が開校して 2 年目となる。生徒数は 498 名となっている。
(令和 7 年 4 月 1 日現在)

●管内小学校数、児童数

	学校数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
鹿角市	6	132	135	152	139	163	185	60	966
小坂町	1	16	19	21	16	19	28	7	126
管内計	7	148	154	173	155	182	213	67	1,092

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R7. 4. 1 現在)

●管内中学校数、生徒数

	学校数	1年	2年	3年	特別支援学級	計
鹿角市	4	175	201	205	18	599
小坂町	1	21	26	25	1	73
管内計	5	196	227	230	19	672

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R7. 4. 1 現在)

●鹿角高等学校生徒数

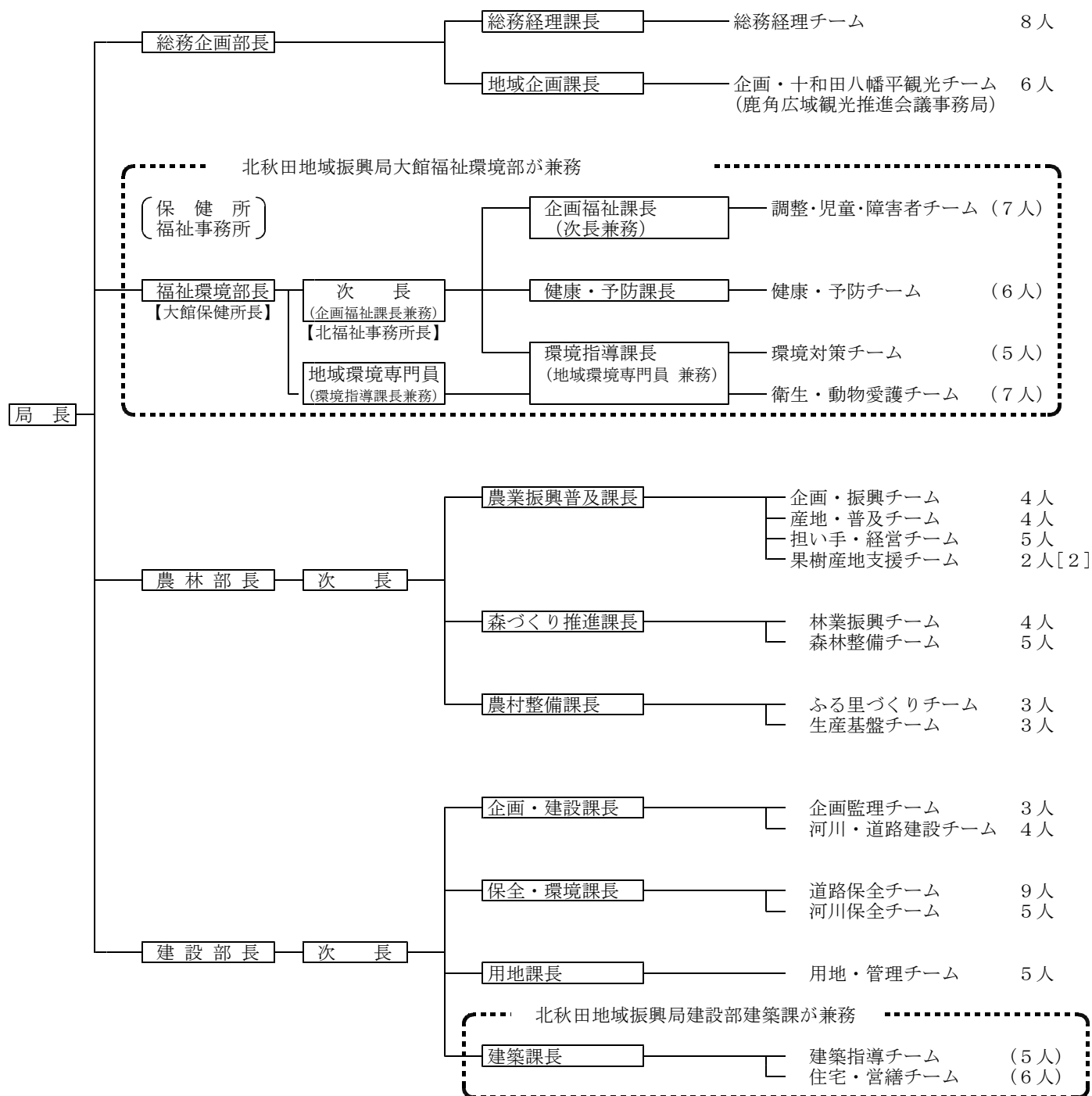
学科名	1年	2年	3年	計
普通科	152	138	152	442
産業工学科	16	23	17	56
計	168	161	169	498

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R7. 4. 1 現在)

Ⅱ 鹿角地域振興局の概要

【令和7年度鹿角地域振興局組織図】

(令和7年4月1日現在)



【 鹿角管内その他の公所 】

- ・ 総合県税事務所鹿角支所
- ・ 食肉衛生検査所
- ・ 産業労働部クリーンエネルギー産業振興課
金属リサイクルチーム (エコウセンター)
- ・ 秋田県教育庁北教育事務所鹿角出張所
- ・ 秋田県鹿角警察署

※ () 内は北秋田地域振興局からの兼務職員

[] 内は果樹試験場からの兼務職員

※ 再任用職員を含む

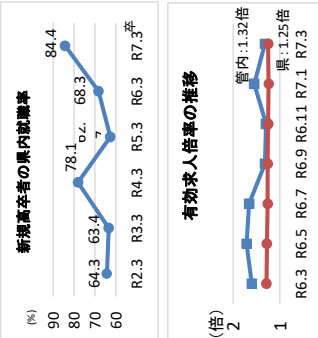
※ 非常勤職員を除く

令和7年度鹿角地域振興局の重点施策推進方針

【目指す姿Ⅰ】若者の地元定着や人材確保による企業の活性化（持続可能性、多様性）

【現状と課題Ⅰ】

- （現 状）**
- 令和7年3月卒業者の県内就職率は84.4%と上昇傾向
 - 令和7年3月の有効求人倍率は1.32倍と県平均より高水準
 - 人口減少や少子化の進行に伴い若者の総数が減少
- （課 題）**
- 人口減少下における地域産業を支える担い手（若者）の確保
 - 人材不足の中で企業の成長に資する女性活躍推進に向けた取組
 - 管内企業の自社PRの内容や手法等の質の向上
- （地域ニーズ）**
- 労働者の確保に向けたマッチング機会の充実
 - 大学生等の採用活動に対する支援が必要
 - 地域で活躍する女性の育成に向けた取組が必要



プロジェクトⅠ 若者の地元定着と企業支援 「賞金」カーボン【bx】

取組1 若者の地元定着と持続可能な企業支援

- ・【新】女性活躍推進セミナー
- ・【新】鹿角で学ぶ秋田の自然エネルギー講座
- ・【拡】進路指導担当と管内企業による相談会
- ・中高生向け企業説明会
- ・建設産業の小中高生向け職場体験

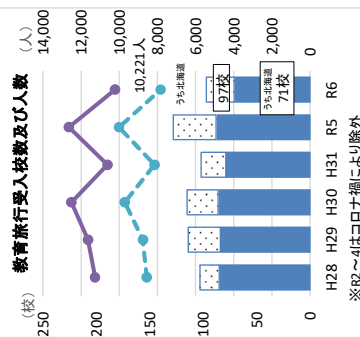
取組2 管外からの人材確保の支援

- ・【新】WEB情報発信構築セミナー
- ・県内大学等と採用希望企業との意見交換会

【目指す姿Ⅱ】世界遺産と十和田八幡平を核とした交流人口の拡大（強靱化、持続可能性、存在感）

【現状と課題Ⅱ】

- （現 状）**
- 増加していた大湯環状列石の来訪者が減少傾向
 - 道の駅十和田湖のオープンにより十和田湖エリアが注目
 - コロナ禍により大幅に減少していた北海道からの教育旅行が回復
- （課 題）**
- 世界遺産に関する県内外への情報発信の強化
 - 県内外からの誘客に向けた隣県との一層の連携強化
 - 観光客の周遊を促進する二次アクセスの整備
 - 宿泊施設開散期の教育旅行の誘致
- （地域ニーズ）**
- 道跡ガイドの人材確保・育成
 - 安定的な教育旅行受入に向けた新たな地域への誘致活動



プロジェクトⅡ 県内外との連携による誘客拡大 「賞金」DX

取組1 世界遺産をフックとした広域連携による誘客促進

- ・【拡】伊勢堂岱遺跡(北秋田地域振興局)、御所野遺跡(岩手県)、豊川石器時代遺跡(青森県)との連携
- ・県北三地域振興局と連携した世界遺産PR

取組2 十和田八幡平を核とする誘客促進

- ・【新】地域独自の観光資源を活用した滞在コンテンツの磨き上げ
- ・岩手県盛岡広域振興局と連携した周遊観光の促進
- ・観光客を呼び込むための二次アクセス整備の検討

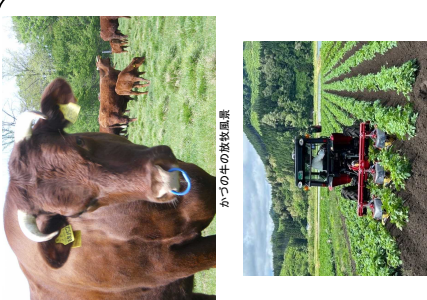
取組3 「SDGsで学ぶ鹿角」教育旅行の誘致

- ・【新】北海道以外の地域への誘致活動の推進
- ・教育旅行誘致キャラバンの実施、教育旅行誘致パンフレット・PRブックの更新

【目指す姿Ⅲ】かづの農林業における食料供給力の強化と成長産業化（強靱化、持続可能性）

【現状と課題Ⅲ】

- （現 状）**
- 果樹の輸出に向け防除体系が未確立、鮮度保持による流通が不可欠
 - ハウス栽培によるシャインマスカットの栽培面積は増加傾向
 - 加工用馬鈴薯の生産が拡大中
 - かづの牛振興協議会と連携し認知度向上と消費拡大を推進
 - 林業従事者の高齢化の進行
- （課 題）**
- 農薬を減らしたモモの防除体系確立とリンゴの鮮度保持技術の導入
 - シャインマスカットの生産技術レベルの向上
 - 加工用馬鈴薯の面積拡大と単収向上に向けた技術確立
 - かづの牛のGI登録を契機としたブランド力強化と消費拡大
 - 林業従事者の担い手確保
- （地域ニーズ）**
- シャインマスカットは新たな地域ブランドとして期待
 - 馬鈴薯は省力化による大規模栽培が可能な作物として有望
 - かづの牛はGI取得後の新たな需要と地域経済への波及効果に期待



プロジェクトⅢ マーケットに対応した複合型生産構造への転換と林業の担い手確保 「賞金」カーボン

取組1 将来に向けたかづの地域特産品の生産拡大

- ・モモの防除体系確立とリンゴの鮮度保持効果の検証
- ・シャインマスカットの品質向上に向けた技術支援
- ・加工用馬鈴薯の生産拡大と産地化に向けた支援

取組2 かづの牛振興協議会との連携による「かづの牛」の消費拡大

- ・消費喚起に向けたPR活動展開、GIを活用したブランド力強化

取組3 鹿角市の「移住お試しツアー」と連携した林業の担い手確保

- ・県外の若者を対象とした林業の現場体験・インターンシップ等

令和7年度鹿角地域振興局各部の重点事項

総務企画部

県政運営の指針となる「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」(2022～2025年度)を着実に推進し、世界文化遺産と十和田八幡平国立公園等を前面に打ち出した広域的な観光誘客や交流人口の拡大を図るとともに、鹿角地域を担う人材の確保・定着を促進させるため地元企業等と連携した事業等に注力し、地域活性化に取り組む。

1 若者の地元定着や人材確保による企業の活性化

地域産業を支える人材確保支援として、若者の地元定着に向けた取組を推進し、地元企業への就職とふるさと定着への意識醸成を図るとともに、人材不足の中で企業の成長に資する女性活躍推進に向けた取組を行う。

また、人口減少下における地域産業を支える担い手を確保するため、管外からの人材確保の支援を行い、企業の活性化を図る。

(1) 若者の地元定着と持続可能な企業支援

- ・女性活躍推進セミナーの開催
- ・鹿角で学ぶ秋田の自然エネルギー講座の開催
- ・若者就業者の交流会の開催
- ・高校進路指導担当と企業による相談会の開催
(北秋田地域振興局共催)
- ・小中高生を対象にした地元企業説明会や建設業団体等と連携した説明会・ドローン操作体験会等の開催



【高校進路指導担当と企業による相談会】

(2) 管外からの人材確保の支援

- ・WEB求人等情報発信構築に向けたセミナーの開催
- ・大学等キャリア支援担当者との意見交換会の開催

2 世界遺産と十和田八幡平を核とした交流人口の拡大

世界文化遺産「大湯環状列石」について、県内外の縄文遺跡群と連携した情報発信を行うとともに、ボランティアガイドのスキル向上を目指す取組を支援し、来訪者の拡大を図る。

また、「十和田八幡平国立公園」を本県の観光資源として認知度を高めるため積極的に情報発信を行うほか、安定的な団体誘客が見込める教育旅行にSDGsの視点を取り入れ、さらなる誘客拡大を図る。

(1) 世界遺産をフックとした広域連携による誘客促進

- ・秋田の世界文化遺産出前講座の開催
(北秋田地域振興局共催)
- ・青森県三八地域及び岩手県県北地域と連携した縄文デジタルスタンプラリーの実施
- ・世界文化遺産パネル展の実施
- ・県北3振興局合同による世界遺産パネル展の実施



【縄文デジタルスタンプラリー】

(2) 十和田八幡平を核とする誘客推進

- ・地域独自の観光資源を活用したモニターツアーの実施及び滞在コンテンツの磨き上げ
- ・岩手県と連携したデジタルスタンプラリーの実施による周遊観光の促進・メディアを活用したPR活動の実施
- ・インバウンド向け「鹿角地域紹介デジタルパンフレット」の作成
- ・鹿角・小坂エリアにおける二次アクセス整備に向けた実証運行



【岩手県と連携したデジタルスタンプラリー】

(3) 「SDGsで学ぶ鹿角」教育旅行の誘致

- ・北海道以外の地域への誘致活動の推進
- ・教育旅行誘致キャラバンの実施
- ・教育旅行誘致パンフレット・PRブックの更新
- ・SDGs関連施設の利用促進



【教育旅行PRブック】

福祉環境部

全県的に人口減少と高齢化が進む中、鹿角地域の住民が健康で生き生きと安心して暮らせる地域をつくるため、「新秋田元気創造プラン」の重点戦略や基本政策に基づき、管内関係機関と協力し、次の5つの施策を推進します。

1 地域の健康危機管理体制の整備・強化

感染症や高病原性鳥インフルエンザ、大規模災害など様々な危機発生時において、福祉環境部が対応すべき業務について、平時から演習や訓練を重ね、各担当の習熟度の向上を図るとともに、対応の問題点や改善すべき点を検証し、万全な医療救護体制を強化する。

- ・ 高病原性鳥インフルエンザの防疫演習の実施
- ・ 感染症患者搬送訓練・防護服着脱訓練の実施
- ・ 災害発生時における初動対応訓練の実施



防護服着脱訓練

2 ひきこもり相談支援体制の強化

ひきこもり状態にある本人や家族の支援を目的に、関係機関同士の情報共有、サポート体制の構築、住民への普及啓発等を行うことにより、ひきこもり支援体制の構築及び強化を進める。

- ・ 管内ひきこもり担当国会議の開催
- ・ ひきこもりに関する研修会の開催
- ・ 職親制度のPR
- ・ 事例検討会の開催

3 依存症当事者と家族への支援体制の強化

地域の支援者が、依存症に対する正しい知識・対応方法を身につけ、当事者・家族等に対して適切な治療・支援を継続して提供することで、依存症からの回復につながるため、当地域の相談支援機関同士の情報共有・連携、相談支援者を対象とした正しい知識の普及・啓発等を行うことにより、依存症当事者・家族への支援体制の強化を図る。

- ・ 依存症相談支援担当国会議の開催
- ・ 依存症関連問題に関する研修会の開催
- ・ 依存症当事者、家族、支援者向けのグループミーティングの開催
- ・ 事例検討会の開催

4 地域環境保全の推進 ～不法投棄未然防止事業～

地域の美しい環境を守るため、鹿角地域振興局管内の不法投棄廃棄物一掃を目的とし、市町、警察署、その他関係機関と連携して不法投棄防止及び廃棄物の適正処理を推進する。

- ・ 不法投棄一掃地域協議会の開催
- ・ 不法投棄廃棄物撤去啓発事業の実施
- ・ 不法投棄防止対策の実施(監視カメラ、啓発用看板の設置)
- ・ 環境監視員の巡回による監視、啓発活動



不法投棄廃棄物撤去啓発事業

5 食品衛生の向上推進

HACCP導入促進により食品事業者の衛生管理の向上を図るほか、食品衛生講習会や手洗い教室の開催を通じて、食中毒予防の啓発、食品衛生意識の向上を図る。

- ・ HACCP方式による衛生管理の導入に取り組む食品事業者へ助言指導
- ・ 秋田県版 HACCP 認証取得の推進
- ・ 食品衛生講習会の開催
- ・ 食品衛生協会との共同による手洗い教室の実施

農林部

人口減少と高齢化の進展による構造的な労働力不足など大きな社会情勢の変化、資材費、人件費の高騰など農業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、鹿角地域の農林業をさらに発展させるために、「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」を踏まえ、これまでの取組を一層強化するとともに、次の施策を重点的に推進する。

1 多様な担い手経営体と新規就農者等の確保・育成

認定農業者等、意欲ある担い手へ農地の集積・集約化を推進し、経営規模の拡大を支援するとともに、多角化・複合化に取り組む経営体への支援を強化する。

新規就農者の確保・育成に向け、相談体制の強化と経営開始資金等の活用や就農後の営農サポートなど、早期の営農定着と就農計画達成に向けた総合的な技術・経営支援を行う。また、持続的に地域農業を維持するため、法人化や組織の経営継承に向けた取組を強化する。

○ 関連事業

- ・農地利用効率化等支援交付金
- ・機構集積協力金交付事業
- ・農業次世代人材投資事業
(経営開始型・経営開始資金)
- ・夢ある園芸産地創造事業



【新規就農者への現地巡回指導】

2 収益性の高い複合型生産構造の構築

収益性の高い複合型農業を推進するため、農業法人による園芸メガ団地等の取組を支援するとともに、これに続く経営体の育成を図る。

「かづの北限の桃」、「かづの牛」、「シンテッポウユリ」をはじめ、園芸メガ団地を主体とした「ねぎ」、規模拡大を図る「ばれいしょ」など、地域特性を活かした農畜産物の生産性向上と産地化、ブランド化を進めるため、生産から流通・販売までの一貫した支援を行う。

さらに、りんご等については、台湾への輸出に向けた取組を推進する。

○ 関連事業

- ・夢ある園芸産地創造事業(再掲)
- ・夢ある畜産経営ステップアップ支援事業
- ・かづのブランド農畜産物ステップアップ事業(地域施策推進事業)



【ねぎの出荷調整作業】

3 次代につなぐ再造林の促進と森林経営管理制度の推進

「伐って・使って・植えて・育てる」という森林資源の循環利用を図るため、施業の集約化や路網の整備、林業事業者の高性能林業機械やスマート林業技術機械の導入を支援し、林業経営の効率化に向けた取組を推進するとともに、皆伐再造林一貫作業システム等の低コストな造林技術の普及により再造林を促進する。

また、「森林環境譲与税」の財源となる「森林環境税」の課税が令和6年度からスタートしたことから、「森林経営管理制度」について、市町における業務が円滑に進むよう、引き続き支援を行う。

- 関連事業
 - ・ 造林補助事業
 - ・ 林道事業
 - ・ 合板・製材生産性強化対策事業
 - ・ 林業成長産業化総合対策事業
 - ・ カーボンニュートラルに挑戦する再造林拡大事業
 - ・ 秋田県森林経営管理制度推進事業



【スマート林業技術機械：ラジコン式下刈機械】

4 林業の新規就業・移住支援の推進

鹿角市の移住・定住の取組との連携により、森林・林業に関心を持つ県外の若者等を対象にした体験プログラムを引き続き実施し、新規就業者の確保を図る。

また、林業事業体向けに、求人等でのWEBサイト活用に向けたセミナーを複数回開催し、事業体の求人情報発信力の強化を図る。

- 関連事業
 - ・ 林業新規就業・移住支援事業
(地域施策推進事業)



【体験プログラムによる林業用苗畑での現地研修】

5 生産力向上と複合型生産構造への転換を支える基盤整備の推進

効率的で収益性の高い農業経営を実現するため、大区画ほ場整備と農地中間管理機構による農地集積、園芸メガ団地等の産地づくりを三位一体で進める「あきた型ほ場整備」について、農村整備課及び農業振興普及課職員等で構成する「鹿角地域ほ場整備推進チーム」が主体となって、地域の話し合いに参加、事業推進体制の確立に向け、情報提供やサポートを行っていく。

また、令和6年度に事業採択となった「毛馬内北部地区」については、区画拡大と農地集積を進展するとともに、「ばれいしょ」などの団地化に取り組み、収益性の高い複合型農業を実践していく。

- 関連事業
 - ・ 農地中間管理機構関連ほ場整備事業



【毛馬内北部地区（工事実施前）】



【地域事業説明会】

建設部

「新秋田元気創造プラン」に基づき、選択と集中による早期の効果発現を図りながら社会資本整備を着実に推進するとともに、老朽化が進行している社会資本ストックの適切な維持管理と計画的な改築更新に取り組む。

（１）改築事業及び補修事業

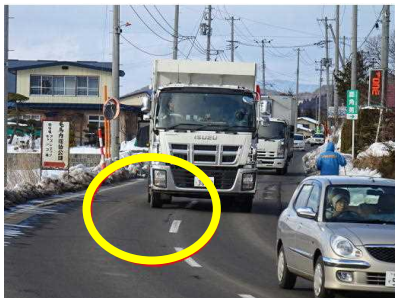
管内の主力路線として、八戸能代間を東西に結ぶ国道１０３号、盛岡青森間を南北に結ぶ国道２８２号が重要な役割を担っている。

いずれも「十和田八幡平国立公園」を中心とした観光拠点を連絡するほか、花輪や大館など主要生活圏を結ぶ幹線道路であり、さらに高速道路や大館能代空港など高速交通体系へのアクセス機能を持つ重要路線である。

国道２８２号西町工区や苦竹工区、県道根瀬尾去沢線松館工区では、歩道が無く車道も幅員狭小であることから、歩行者の安心な空間と大型車の安全な走行を確保するため、歩道の新設と車道の拡幅整備を進めていく。

国道１０３号等では、山間部における自然災害対策の推進や、橋梁等道路施設の計画的な修繕によるインフラ施設の長寿命化を進めていく。

【国道２８２号 西町工区（鹿角市十和田毛馬内）】



歩行者がいると車が車線を逸脱



冬は堆雪で道幅が狭くなり危険



工事が進む線形改良区間

【県道根瀬尾去沢線 松館工区（鹿角市八幡平）】



歩道が無く路肩を歩いて下校



大型車はぎりぎりのすれ違い



工事が進む現道拡幅区間

【国道２８２号 苦竹工区（小坂町小坂鉦山）】



狭い歩道を歩いて下校



冬季は堆雪によりさらに狭く

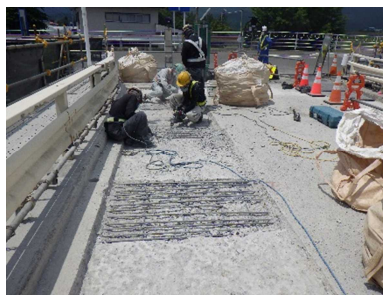


現道拡幅・歩道整備工事の状況

【国道103号等 自然災害対策、施設の長寿命化】



自然災害(落石)対策



橋梁床板の補修



橋梁防護柵の更新

(2) 河川改修事業 福士川(鹿角市花輪陳場)

昭和38年に発生した210戸の浸水被害をはじめ昭和50・55年、近年では平成19・25・26年の度重なる豪雨により福士川が氾濫し、周辺家屋に被害が生じたことから、早期に治水安全度の向上を図るため、下流から順次河川改修を進めている。

当事業では効率的な整備とするため、1工区で採用した「緩傾斜護岸」を2工区では「急傾斜護岸」に変更することで用地買収地を減らしつつ、さらに旧河川敷地を最大限活用しながら、コスト縮減と事業のスピードアップを図り整備を進めていく。

全体計画 S60年～ 約L=2.8km

○1期工事 広域一般河川改修事業(放水路S60～H13) L=1.55km(概成)

○2期工事 総合流域防災事業(H14～R3)・大規模特定河川事業(R4～) L=1.25km

・1工区

(主) 十二所花輪大湯線組丁橋まで(H14～H25) 約L=0.2km

(概成 緩傾斜護岸)

・2工区

市道横町東山線陳場橋まで(H26～) 約L=0.5km

(事業中 急傾斜護岸)

・3工区(未)

市道花輪小坂線福士川橋上流まで 約L=0.6km

状況写真

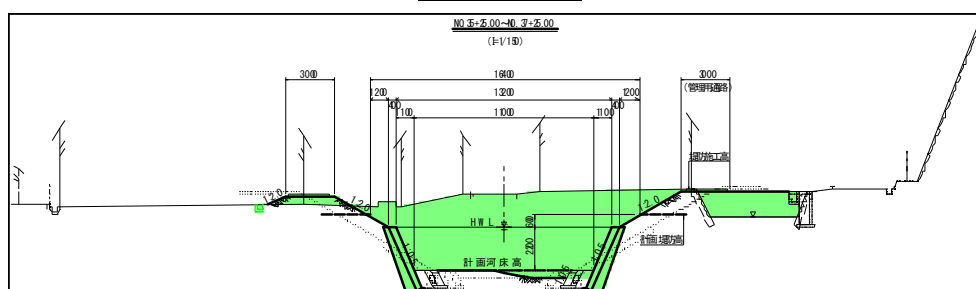
1工区(概成)



2工区(事業中)



標準断面図



令和7年度鹿角地域振興局各部の所管業務

(1) 総務企画部

課	チーム	電話番号	所管業務
総務経理課	総務経理チーム	0186-22-0456	庶務一般、公印管理、文書、人事、 服務、福利厚生、庁舎管理、県有 財産管理、予算執行管理・決算、 工事経理、建設業許可事務
地域企画課 (鹿角地域未来 創造センター)	企画・十和田 八幡平観光チーム	0186-22-0457	局内総合調整、県政の広報・広聴、 重点施策、主要事業の総合調整、 市町・地方機関の連絡調整、商工 業振興、雇用労働、情報公開、個 人情報保護、危機管理、交通安全 対策、県民文化振興、男女共同参 画、人口減少対策、電気工事士(業) 登録、青少年健全育成、協働活動 支援、鹿角広域観光推進会議、観 光情報発信

(2) 福祉環境部（北秋田地域振興局大館福祉環境部が兼務）

課	チーム	電話番号	所管業務
企画福祉課	調整・児童・ 障害者チーム	0186-52-3955	部内の総合調整、社会福祉法人の 許認可等、介護保険・高齢者対策、 身体障害者・知的障害者・精神障 害者の保健福祉施策、自殺予防、 ひきこもり対策、厚生統計、学生 実習等、児童福祉、母子・父子寡 婦福祉、女性相談、民生・児童委 員、生活困窮者自立支援
健康・予防課	健康・予防チーム	0186-52-3952	健康危機管理、受動喫煙対策、健 康増進、食生活改善、感染症予防、 難病患者等相談、地域保健活動、 母子保健、地域医療、医療機関の 許認可・監視指導、薬局等の許認 可・監視指導
環境指導課	環境対策チーム	0186-52-3954	水道・温泉等の許認可・指導、大 気汚染・水質汚濁の防止に関する 指導、汚染土壌に関する許可・指 導、廃棄物処理に関する許認可・ 指導
	衛生・動物愛護チーム	0186-52-3953	食品衛生・生活衛生関係営業施設 の監視・指導・許可、食中毒予防

(3) 農林部

課	チーム	電話番号	所管業務
農業振興普及課	企画・振興チーム	0186-23-2123	部内の総合調整、新ふるさと秋田農林水産ビジョン、経営所得安定対策、気象災害、農業委員会、地域計画、養蜂振興法、肥料取締法、農業関係制度資金
	産地・普及チーム	0186-23-3683	普及活動業務の総括、普及活動計画の企画及び進行管理、農産物の生産振興、試験研究との連携及び生産技術実証、環境保全型農業、大規模園芸団地、土壌汚染防止対策、GAP
	担い手・経営チーム	0186-23-3683	担い手の確保・育成対策、集落営農・認定農業者の法人化推進、農業法人の複合化・多角化支援、6次産業化の推進、新規就農者の確保・育成対策、直売・加工活動支援、農業後継者組織
	果樹産地支援チーム (かづの果樹センター)	0186-25-3231	果樹に関する技術・経営支援、栽培実証
森づくり推進課	林業振興チーム	0186-23-2275	森林計画、流域林業管理システム、林業・木材産業構造改革事業、地域活動支援交付金、森林組合等団体指導、林業金融、林業労働力、木材産業の振興、林業普及、特用林産、緑化推進、保安林の指定・解除、保安林の作業許可、林地開発、鳥獣保護・猟政、入会林野、秋田県水と緑の森づくり税関係事業、森林環境税・森林環境譲与税
	森林整備チーム	0186-23-2275	林内路網（林道・基幹作業道・作業道）の計画・整備、治山施設の管理、造林補助事業及び基金事業、森林病虫害、林業種苗、県営林の管理

課	チーム	電話番号	所管業務
農村整備課	ふる里づくりチーム	0186-23-2243	土地改良区関係団体の指導、土地改良事業認可、資金融資、用地の取得・補償、土地改良財産の管理・処分、換地処分、ふるさと秋田元気創造プラン等各種プロジェクト、農業農村整備事業の調査計画、団体営事業（災害復旧事業）の指導・監督、日本型直接払交付金事業、秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業
	生産基盤チーム	0186-23-2243	農地中間管理機構関連ほ場整備事業、ため池等整備（河川対応・用排水施設）事業、高度土地利用調整事業（指導・調査・調整）

(4) 建設部

課	チーム	電話番号	所管業務
企画・建設課	企画監理チーム	0186-23-2301	部内調整、事業調整、入札契約事務、技術管理、研修、建設副産物対策
	河川・道路建設チーム		道路・河川・都市計画事業の計画・設計・積算・監督業務
保全・環境課	道路保全チーム	0186-23-2316 砂子沢ダム 0186-25-8227	道路の維持管理、除雪、通行規制、道路事業の計画・設計・積算・監督業務、道路災害復旧事業
	河川保全チーム		河川・砂防事業の計画・設計・積算・監督業務、河川災害復旧事業、砂子沢ダムの維持管理・洪水調節
用地課	用地・管理チーム	0186-23-2302	道路・河川の管理及び許認可、開発行為の許可、屋外広告物、公共用地の取得、補償及び登記
建築課 (北秋田地域振興局が兼務)	建築指導チーム	0186-63-2531	建築物の確認・指導、建築士法、宅建業法
	住宅・営繕チーム	0186-63-2531	県有建築物の営繕、県営住宅管理、公営住宅建設の指導監督



令和7年6月 発行

鹿角地域の概要 2025

お問い合わせ

秋田県鹿角地域振興局

総務企画部 TEL : 0186-22-0456 FAX : 0186-23-5574

福祉環境部 TEL : 0186-52-3955 FAX : 0186-52-3911

農 林 部 TEL : 0186-23-2123 FAX : 0186-23-7069

建 設 部 TEL : 0186-23-2301 FAX : 0186-23-6074
